おおきなせなかに ― 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち

広報だいせん だいせん日和

Proud! Japan 東日本大震災の復興を支援しよう

2011 vol.160 12

【特 集】

「絆」紡ぎ続ける265日
大仙の思い 三陸へ届け

題字／佐 藤　愛（大曲高校１年）

保育所・幼稚園 申し込み案内

平成24年4月からの
入所・入園を受け付けます
期間内に忘れず申し込みください

保育所

申込期間 12/8(木)▶11(日)

申込時間／午前8時30分～午後6時（大曲庁舎は午後7時まで）
※10日(土)・11日(日)は午後5時まで
申込先／下表参照

就学前の子どもがいる家庭で、「日中、家庭内・外で家事以外の仕事をしている」「病気だったり病人の看護をしている」などの理由で、自宅での保育が難しく、来年4月から保育所への入所を希望する方は、入所申し込みをしてください（右表参照）。申込書などは本庁児童家庭課・各支所市民サービス課・各保育所に用意してあります。

現在入所中の子どもがいる方には、保育所で申込書等を配布しています。

◆対象／就学前の生後57日目以降の子ども
（大曲乳児保育園は3歳児未満）

◆提出書類／
①平成23年分源泉徴収票の写し（職場から発行され次第提出）
※確定申告をする場合は申告後、写しを提出
②平成23年1月2日以降に大仙市に転入した方は、平成23年1月1日現在の住所地での平成23年度住民税課税（または非課税）証明書
③就労証明書など

【問い合わせ】
各支所市民サービス課
児童家庭課 ☎0187-63-1111内線103

各保育所の定員と申込先

地域	保育所名	定員	申込先
大曲	角間川保育園	45人	大曲庁舎市民ホール ※大曲地域の各保育所のほか、市内全保育所の申し込みも受け付けます。（神岡、中仙西保育園を除く）
	内小友保育園	60人	
	大川西根保育園	55人	
	藤木保育園	45人	
	四ツ屋保育園	120人	
	大曲乳児保育園	60人	
	大曲東保育園	120人	
	大曲南保育園	135人	
	大曲中央保育園	105人	
	はなだて保育園	120人	
	大曲北保育園	90人	
	どれみ保育園	40人	
	日の出ベビー保育園	30人	
西仙北	刈和野保育園	120人	西仙北支所市民サービス課
	みつば保育園	90人	
中仙	中仙東保育園	110人	中仙支所市民サービス課
協和	協和保育園	80人	協和支所市民サービス課
	淀川保育園	30人	
	船岡保育園	40人	
南外	南外保育園（認定こども園）※予定	60人	南外支所市民サービス課
仙北	仙北南保育園	150人	仙北支所市民サービス課
太田	おおた保育園	90人	太田支所市民サービス課

※定員を超えた場合は、希望する保育所に入所できない場合があります。
※平成25年度に南外保育園を大空大仙に移譲する予定です。

幼稚園

申込期間 12/8(木)▶13(火)

申込時間／午前8時30分～午後5時
※土・日、祝日を除く
申込先／入園を希望する各幼稚園（下表参照）

入園を希望する方は各幼稚園に入園申し込みをしてください。申込書などは各幼稚園、または各地域の公民館(大曲は大曲保育会)に用意しています。

◆対象／
【5歳児】平成18年4月2日から19年4月1日までに生まれた子ども
【4歳児】平成19年4月2日から20年4月1日までに生まれた子ども
【3歳児】平成20年4月2日から21年4月1日までに生まれた子ども

【問い合わせ・申込書請求】（右表参照）
【市立幼稚園】入園を希望する各幼稚園
【社会福祉法人立幼稚園(大曲保育会)】
入園を希望する各幼稚園
大曲保育会事務局 ☎0187-62-4561

各幼稚園の定員と申込先

	幼稚園名	定員	申込先・所在地
市立幼稚園	南外幼稚園（認定こども園）※予定	30人	☎0187-73-1088 南外梨木田96-1
	みどり幼稚園	180人	☎0187-69-2117 堀見内藍野75-1
	太田ひがし幼稚園	90人	☎0187-89-1515 太田町太田築地古舘27
	太田みなみ幼稚園	90人	☎0187-88-2110 太田町横沢窪関南535-4
大曲保育会	大曲南幼稚園	180人	☎0187-62-1027 大曲花園町4-88
	大曲北幼稚園	90人	☎0187-63-5118 大曲白金町12-12

※定員を超えた場合は調整があります。
※平成24年度に、みどり幼稚園、太田みなみ幼稚園、太田ひがし幼稚園を、25年度には南外幼稚園を大空大仙に移譲する予定です。

へき地保育所

申込期間 12/1(木)▶11(日)
※高畑保育園は4日(日)と11日(日)を、土川保育園は3日(土)と4日(日)を除く

申込時間／午前8時30分～午後5時
申込先／下表参照

高畑保育園と土川保育園の新入所児童を募集します。入所希望の方は、高畑保育園、西仙北支所市民サービス課で入所申し込みをしてください。

各へき地保育所の申込先と問い合わせ

地域	保育所名	定員	申込先・問い合わせ
大曲	高畑保育園	40人	高畑保育園 ☎0187-63-6042
西仙北	土川保育園	40人	西仙北支所市民サービス課 ☎0187-75-2973

※通所区域、保育時間については問い合わせください。

認定こども園

申込期間 12/8(木)▶13(火) ※保育園部は11日(日)まで

申込時間／午前8時30分～午後6時
※10日(土)、11日(日)は午後5時まで
申込先／下表参照

認定こども園は、幼稚園と保育所両方の機能をもった施設です。入園希望の方は、各認定こども園窓口、または大空大仙事務局（中仙庁舎2階）で入園申し込みをしてください。

各認定こども園の申込先と問い合わせ

地域	施設名	定員	申込先・問い合わせ	
神岡	すくすくだけっこ園	幼稚園部 45人（かみおか幼稚園） 保育園部 155人（神岡保育園）	すくすくだけっこ園 ☎0187-72-2148	大空大仙事務局（中仙庁舎2階） ☎0187-56-7677
中仙	なかせんワイワイらんど	幼稚園部 60人（中仙幼稚園） 保育園部 180人（中仙西保育園）	なかせんワイワイらんど ☎0187-56-4139	

広報だいせん　平成23年12月号　第160号

だいせん日和

3月11日に東日本を襲った大地震、その日から大仙市の支援活動が始まった。詳しくは10ページから

CONTENTS_目次

010 【特集】「絆」紡ぎ続ける265日 大仙の思い　三陸へ届け
012 だいせん応援ハウス
015 届け希望の光
018 届け地域の思い

002 保育所・幼稚園申し込み案内
24年4月からの入所・入園を受け付けます
004 あの人に寄り添って
被災地での体験を語る　青木福子さん
006 市の動き
光ファイバ通信網整備事業
小規模集落コミュニティ対策事業
大沢郷地区簡易水道整備事業
冬季節電対策基本方針
008 市役所からのお知らせ
神岡情報センターパソコン教室
油漏れにご注意ください
「子ども手当」の申請手続き
ホームページ活用支援
市有地を一般競争入札で売却

026 消費生活相談室からのお知らせ
還付金に関する詐欺に注意
027 地域情報
スキースポーツ少年団、スキーゲノッス募集
双葉小学校・土川小学校閉校記念式典
032 健康の達人
大曲中通病院消化器内科／佐藤厚史 医師
「大腸がん検診について」
033 健康通信
受診期限は12月31日、成人歯周疾患検診
2回接種を終えよう、子宮頸がん予防ワクチン
SIDSから赤ちゃんを守ろう
035 いきいき広場
シリーズ：高齢者夫婦の安心生活
「花子さん、布団の訪問販売被害に遭う」
介護保険事務所からのお知らせ

大仙の逸品　読者プレゼント

締め切り日　12月31日（消印有効）

— お便り送って商品ゲット —

モンドセレクション金賞　西仙北にこだわった特別本醸造

大綱の響（つなひびき）　熟成酒

西仙北にこだわったお酒。プライベート商品にもかかわらず、その味はモンドセレクション金賞を受賞するほど世界にも認められている。
使用麹菌の特徴は、甘さがスッと早く消えるオリゴ糖を作ることで、甘さが後に残らないキレの良い酒に仕上がっている。
数量限定販売で、根強いファンが多い商品。

西仙北の酒小売店13店舗で組織する西仙酒友会が企画販売しているプライベート商品「大綱の響」。12月から販売開始する1年を費やした熟成酒(720ml、税込み1,200円)を5人の方にプレゼントします。

毎年2月に新酒、7月に夏バージョン、そして12月には熟成酒を数量限定で販売し、約1カ月で完売となる人気のお酒。西仙北刈和野を代表する大綱引きの引き合いで綱が「ドスンドスン」と響くことから名付けられ、原料米は西仙北の農家、水は大沢郷の雄清水・雌清水、そして麹菌も地元産。西仙北にこだわった逸品です。

平成9年にモンドセレクションに初出品し、見事に金賞受賞。「香り豊かでキレの良い口当たり。フルーティーであっさりした白ワインのような味わいで、二日酔いしないように思えます」と西仙酒友会の亀谷会長。限定品となっていますので、お早めにお買い求めください。

【問い合わせ】西仙北酒友会（ワインテラスかめや内）
☎0187-75-1124

応募方法

発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず広報紙の感想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。
応募対象は20歳以上で、応募者多数の場合は抽選を行います。
当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

あて先

〒014-8601（住所不要）だいせん日和プレゼント係
ファクス／0187-63-1119
Eメール／kouhou@city.daisen.akita.jp
※Eメールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。

「元の生活に戻ることは難しいが、前に進むことはできます」と話す青木さん

Person

あの人に寄り添って

青木福子（あおきふくこ）さん

市ボランティア連絡協議会(佐藤多喜子会長)の第6回「ボランティアまつり」が11月8日中仙農村環境改善センターで開かれた
宮城県女川町で被災した青木福子さん
自らの被災体験から「命の大切さ」を涙ながら訴えた
かけがえのない命、そして人と人とのつながりを改めて考えさせられた

「命は再発行できません」

一人一人が自分の命は自分で守ってほしい

柵の湯入り口に青木さんの作品が展示され、利用客の目を楽しませている。はさみなどで紙を切らない「不切一枚折り」

着の身着のまま大仙市へ

南三陸金華山国定公園地域に指定され、リアス式海岸は天然の良港を形成。養殖漁業が盛んで、金華山沖漁場が近く豊富な魚種が数多く水揚げされる宮城県女川町。東日本大震災では震度6弱、津波の最大波高14・8㍍を記録。8月3日現在で死者526人、行方不明者125人、7割近くの建造物が全壊し壊滅的な被害を受けた。(女川町復興計画から)

青木さんは「津波が来た」と聞き、保育所に孫を迎えに行き、そのまま何も持たずに車で逃げた。家族の命は助かったが、家を失い、娘の嫁ぎ先の美郷町に避難。大仙市の避難者サポートセンターの援助で4月から仙北の史跡の里交流プラザ「柵の湯」で避難生活を送っていた。

もしも5分遅れていたら

女川町の中心部に住んでいた青木さん。3月11日の午前中、浜に住む親類が歯医者を受診に来たため車で家に送り届けた。用事を済ませ、石巻に出かけるはずだったが一時帰宅すると、5分もしないうちに被災。親類は亡くなった。「もしも時間の歯車が少しでも違っていたら、生死が逆になった人がたくさんいると思う」と話す。

たくさんの人が亡くなった。「まさかここまで津波はこない」と思い込んで流された人がいた。指定された避難所で亡くなった人もいた。中には家族を助けようとして亡くなった人もいる。避難先から忘れ物を取りに戻った人は、ほとんどが亡くなった。勝手な思い込みで安心するのではなく、命を守るための最大限の努力、そして一瞬の判断が大切。助けを求める人を無視して逃げることはできないものだが、一人一人が自分の命を守ることが大切だ。「通帳や印鑑も大切だが、通帳は再発行できても、命だけは再発行できません」と涙ながらに訴えた。

知識や技術は失わない

仕事のかたわら折り紙の講師などをしていた青木さん。避難を助けてくれた車の中に折り紙作品が残されていた。「すべてを失ったけれど、紙があれば」とチラシなどで折り始めた。「不切一枚折り」という折り紙のジャンルで、紙を切らずにヒマワリ、つぼ、カゴなどの立体的な作品が生まれた。

「和紙や作品本などは津波に流されましたが、知識や技術など身に付いたものは流されませんでした。折り紙が私を癒してくれ、交流のきっかけを作ってくれました」。

生活する柵の湯の玄関には青木さんの作品が置かれ、温泉客の目を楽しませた。中には作り方を教えてほしいという人もいるほどで、小学校などで折り紙を教える機会にも恵まれた。

8月から介護施設で働き始め、11月末には娘が住む美郷町に部屋を借りて再出発。「いつまでもくよくよしていたら、亡くなった大切な友人に死にきれないと言われそう。本当の一人暮らしが始まります」と話す青木さん。「被災体験から学んだことを伝える活動を続けていきたい。お世話になった方々に少しでも恩返しができるなら」と微笑んでくれた。

1

Optical fiber

大仙市光ファイバ通信網整備事業

市内全域に光ファイバケーブル網を整備 〝光〟でつながるまちに

平成17年に8市町村が合併し誕生した大仙市。広範な市域の中で、少数世帯の集落が点在している山間部などでは高速情報通信の整備が進まず、情報格差をなくすことが大きな課題となっていました。

このため、市では都市部と変わらない超高速ブロードバンドサービスの提供と、地上デジタル放送難視聴地域の解消を目的に、国の「地域情報通信基盤整備推進交付金（ICT交付金）事業」などを活用。通信事業者（NTT東日本秋田支店）と連携して市内全域に光ファイバケーブルを敷設したことにより、大仙市は「光でつながるまち」になりました。

今後は、光ファイバケーブル網を活用した福祉・防災・教育などの行政サービスや、地域活性化に向けた各種事業などを検討。みなさんが安全・安心に暮らせるよう、より一層情報発信に努めていきます。

11月1日に行われた開通式では、栗林市長と西仙北の大沢郷地区の方がテレビ電話で通話
光ファイバケーブルの敷設により「いつでも・どこでも・だれでも」都市部と変わらない超高速ブロードバンドサービスの提供を受けることが可能になりました。

＝ 事業の概要 ＝

▶超高速ブロードバンドの環境整備

市内全域を対象に約12,000世帯、総延長約611キロメートルの規模で光ファイバケーブルを敷設。また、通信事業者が神岡全域と西仙北・中仙の一部を独自に整備しました。

▶地上デジタル難視聴地域解消

受信設備2基を整備し、難視聴地域へ光ファイバケーブルによる地上デジタル放送の再送信を実施。西仙北・協和・南外・太田の941軒で利用され、天候等に左右されない安定した視聴が可能になりました。

3

Water Supply

大沢郷地区簡易水道整備事業

大沢郷地区の水環境を改善 待望の簡易水道施設が完成

夏場の渇水や雨による濁水に悩まされてきた西仙北の大沢郷地区。簡易水道施設の完成を祝う竣工記念式典が10月28日、同地区公民館で開かれ、地区住民や市関係者ら約180人が出席しました。

成瀬ダムの暫定豊水水利権を取得し、雄物川の伏流水を水源として、平成19年度から5カ年計画で整備が始まりました。481戸（1550人）を給水対象世帯として21年に一部世帯での利用が始まり、昨年6月には全世帯へ給水を開始しています。

大沢郷地区公民館で行われた竣工記念式典（写真上）
式典では、施設の整備にあたり用地を提供していただいた方々に感謝状が贈られました。

完成した大沢郷地区簡易水道施設

総事業費は21億6445万円。沢水と地下水を水源とする自家用水道や集落単位の簡易水道を利用してきた方々の水環境の改善が図られ、旧西仙北町からの懸案だった、安全安心な生活に不可欠な水を供給できるようになりました。

4

Power Saving

大仙市冬季節電対策基本方針を策定

無理のない範囲で取り組もう 冬の節電アクション

東日本大震災の影響で大幅に低下した東北電力管内の電気供給力。これまでのみなさんの節電の取り組みと発電施設の復旧により電力需給バランスは改善しつつある状況です。

しかし、冬季は暖房機器の使用などにより電力需要が増加するため、今冬は厳しい電力需給状況となることが予想されています。東北電力管内では、他社からの電力融通を受けなければ十分な電気供給量を確保できないことが見込まれており、引き続き節電の取り組みが必要です。

市は11月18日、国の対策方針に基づき、12月1日から平成24年3月31日までを取組期間とする「大仙市冬季節電対策基本方針」を策定。市民、事業者、市で力を合わせ、冬の節電に取り組みましょう。

日照時間が短く、気温が低下する冬の節電のポイントは照明と暖房器具。

▼こまめな消灯▼暖房器具の適切な温度設定▼こたつなどの部分暖房の活用▼カーペットや断熱シートでの熱を逃さない工夫―などを心掛け、特に電気使用量のピークを迎える夕方以降の節電にご協力ください。

冬の節電に関するチェック表を次号広報と一緒に配布します。体調に留意しながら、無理のない範囲で、また事業所では、業務に支障のない範囲での取り組みをお願いします。

【問い合わせ】
環境交通安全課
☎0187(63)1111内線277

2

Community

小規模集落コミュニティ対策事業

〝集落〟のことをみんなで考えるきっかけに 座談会を開いてみませんか

地域での基礎的な社会組織である「集落」。さまざまな共同活動などにより地域の結び付きが生まれ、現在の自治体の基礎となっています。

しかし、人口減少・少子高齢化の進行などで集落等の機能が失われつつあり、機能の維持や活性化が課題となっています。

市では平成20年度から、小規模集落等のコミュニティ機能の維持や活性化を目指し、対策事業を実施。集落や自治会の現況調査のほか、集落支援員の試験配置などを行っています。

また、21年度からは、集落での座談会を開催。21年度は3カ所、22年度は8カ所を訪問。集落の現状や課題などについて、話し合いを行っています。

今後も、市民のみなさんと協働でコミュニティ機能の再生・活性化につながる支援策の検討や取り組みの実現を目指します。

みんなで集落のことを話しませんか
座談会開催集落を募集しています

集落への思いや集落の自慢、集落機能の低下により不安や不便に感じていることなどを話し合う座談会を開催する集落を募集します。

みなさんと山王丸副市長とお話しし、自分たちの集落のことを考えるきっかけにしてみませんか。

開催を希望する集落の代表者の方は、ぜひご連絡ください。

【問い合わせ】
総合政策課
☎0187(63)1111内線237
各支所市民サービス課

集落について一緒に考え、話し合ってみませんか。（座談会の様子）

初心者の方も気軽に申し込みください
神岡情報センターパソコン教室

【問い合わせ・申し込み】
神岡支所市民サービス課
☎0187-72-2111

パソコン初心者や文字入力のできる方を対象にしたパソコン教室の受講者を募集します。

講師がゆっくり丁寧に指導します。パソコンを基礎からじっくり学べるチャンス。この機会に、ぜひ申し込みください。

◆**対象**／市内に在住、在勤、または在学している18歳以上の方

◆**時間**／午後2時～4時

◆**会場**／神岡総合情報センターIT研修室（神岡庁舎内）

◆**定員**／各コース先着12人

◆**申し込み開始日**／12月12日(月)

※同時に2コースまでの申し込みとさせていただきます。

コース名	対象	期日	テキスト代	内容
初めてのパソコン	初心者	1月17日（火）、20日（金）、24日（火）、27日（金）、31日（火）	500円	パソコンの電源の入れ方からマウスやキーボードの使い方、文字入力までをゆっくり学習します。
ワード基礎	文字入力のできる方	2月7日(火)、10日(金)、14日（火）、17日（金）、21日（火）、24日（金）	2,100円	基本操作から、表やイラストなどを盛り込んだ文書作成まで、役立つ使い方を学習します。
インターネット入門	文字入力のできる方	2月28日（火）、3月7日（水）	1,785円	インターネットの基礎知識や利用方法などを学習します。

水質汚染事故につながります
油漏れにご注意ください

【問い合わせ】
環境交通安全課 ☎0187-63-1111
各支所市民サービス課

灯油等を使用する機会が増えるこれからの季節は、河川等への油の流出事故が多発する時期です。河川や側溝へ油が流出した場合、事故処理費用は原因者に請求されます。家庭や事業所等での油の取扱いには十分注意して、油の流出による水質汚染事故をなくしましょう。

また、通報の遅れは被害を大きくし、費用負担も大きくなります。油漏れ事故が発生した場合は、速やかに市役所か消防に連絡してください。

【連絡先】
各支所市民サービス課
環境交通安全課 ☎0187(63)1111 内線277
大曲仙北広域市町村圏組合消防本部 ☎0187(63)0150

こんなことに気を付けよう

○暖房施設の配管部分の亀裂などが原因の油漏れ事故が増えています。定期的に点検しましょう。

○灯油をホームタンクからポリタンクに移す際は、その場所を離れないようにしましょう。給油後は、タンクのバルブがきちんと閉まったことを確認しましょう。

○屋根からの落雪、除排雪作業による配管の破損等に注意しましょう。

○ホームタンクの貯油量を常に把握して、異常に量が減っていないかを確認しましょう。

落雪やつららによるホームタンクの破損に注意しましょう

済んでいない方はお早めに
「子ども手当」の申請手続き

【問い合わせ・申請先】
児童家庭課☎0187-63-1111 内線103
各支所市民サービス課

子ども手当の申請手続きが済んでいない方は、早めの手続きをお願いします。

平成24年3月末までに申請をすれば、23年10月分からの手当を受け取ることができます。ただし、2月の定期支払日に手当を受け取るためには、24年1月13日までの申請が必要です。

◆**申請窓口**／児童家庭課および各支所市民サービス課

◆**持参するもの**／
①印鑑
②請求者本人の健康保険被保険者証
③請求者本人名義の通帳
④子どもが市外に住んでいる場合は、子どもの世帯の住民票謄本

申請時の注意事項

ご注意ください

次の①、②に該当する方は、決められた期間内に申請しなければ、10月分からの手当を受け取ることができません。
期間内に必ず申請してください。

①10月以降に転入した方 ☞ **転入日の翌日から15日以内**
②10月以降に子どもが生まれた方 ☞ **出生日の翌日から15日以内**

専門家が無料でアドバイス
ホームページ活用支援

市では、市内の企業を対象にホームページを効果的に活用し、事業活動に役立てていただくための支援を行っています。

今回は「検索エンジン最適化対策（SEO対策）」について、専門家が企業を訪問し指導します。SEO対策を行うことで、多くの顧客をホームページに誘導することができ、顧客獲得の機会を増やすことができます。

希望する企業は、ぜひ申し込みください。

◆**対象**／現在ホームページを運用している市内企業

※今回の支援を通じて、新たにホームページを作成し立ち上げるという場合は対象外となります。

◆**指導料**／無料

【問い合わせ・申し込み】
情報システム課 ☎0187(63)1111 内線385
株式会社ASTコンサルタント 齋藤さん ☎0187(66)8033

太田地域の市有地
一般競争入札で売却

詳細は問い合わせいただくか、市のホームページをご覧ください。

◆**売却物件**／
①田3744平方㍍（国見小釣木88番外1筆）
②田1469平方㍍（斉内段ノ腰213番1）
③田2214平方㍍（太田石神直塚161番1）

◆**申込期限**／平成24年1月18日(水)

※申し込みの際に、市農業委員会が発行する「買受適格証明書」が必要です。12月26日(月)までに農業委員会事務局、または各分室（各支所農林建設課）に申し込みください。

◆**入札日時**／1月25日(水)午前10時～

◆**入札会場**／大曲庁舎3階第一委員会室

【問い合わせ・申し込み】

○**入札について**
管財課 ☎0187(63)1111 内線283

○**買受適格証明書について**
各農業委員会分室
大仙市農業委員会事務局 ☎0187(72)4611

絆

KIZUNA will be continued 265days or more

紡ぎ続ける 265日

3月11日～11月30日

大仙の思い　三陸へ届け

>> だいせん応援ハウス12ページ

>> 届け希望の光　15ページ

>> 届け地域の思い　18ページ

人と人との助け合い、絆を感じた8カ月
市民総参加の被災地・被災者支援　息の長い活動が続く

尊い命、財産 すべてを奪った大震災

3月11日午後2時46分ごろ、東日本を襲ったマグニチュード9・0の大地震。震源は牡鹿半島の東南約130㌔付近で震源の深さは約24㌔。震源域は岩手県沖から茨城県沖までの500㌔にも及んだ。国内観測史上最大で、1900年以降に発生した世界の地震でも4番目の規模。激震は数分間も続き、その後、最大数十㍍の大津波が東日本太平洋側の広い範囲に押し寄せ、多くの尊い命、大切な財産、普段の生活を容赦なく一瞬にして奪い去った。

また、日本全土が約2㍍以上も移動した想定外の揺れと津波被害で東京電力福島第一原子力発電所では炉心が融解、大量の放射性物質が大気や土壌、海洋等に拡散、土壌や海洋の汚染、農林水産物の汚染、人体への影響、住民の避難、電力不足、そして風評被害など数多くの問題をもたらした。

不安と恐怖の暗闇で 寒さと闘った一夜

大仙市でも震度5強を観測。経験したことのない長い横揺れ。幸いにも大きな人的被害や建物等の損壊はなかったものの、全市で約32時間の停電、一部水道が断水、輸送網の寸断によるガソリンや灯油などの燃料不足、食料や生活用品の不足など市民生活に影響を与えた。電話も一般回線や携帯電話も通じない中、情報の伝達も収集もできないまま、真っ暗な場所で恐怖と不安を抱えながら一晩寒さと闘った。電気が復旧したときの灯りが希望の光のように思えたのが、昨日のことのように思い返される。

被災地と歩調を合わせ 歩み続ける私たち

震災直後から市役所に続々と集まる支援物資。2日後の13日には被災者の安否確認相談や義援金の募金活動を開始。被災地に届ける救援物資の準備も始め、一部は同日に届けた。1週間後の18日からは正式に「避難者サポートセンター」を設置。避難者の受け入れや生活相談を現在も継続している。

約1カ月後の4月18日には、岩手県遠野市にボランティアの拠点施設を設置。2カ月にわたり延べ655人のボランティアが活躍。引き続き陸前高田市での市民ボランティアの活動を支援した。

また、被災した方の心のケアということで、「大曲の花火」や温泉への招待事業を実施するなど、被災地を継続的に支援。市以外にも学校や商店街、自治組織、各種団体が自主的に支援活動を展開している。

同じ東北に住む仲間として、被災地に寄り添い、歩みを同じにしながら一歩一歩共に歩む大仙市民。

被災地復興の緒についたばかりで、息の長い活動が必要とされる。震災から今日までの265日の足跡を振り返る。

大仙市の被災地・被災者支援

被災地支援

救援物資輸送／宮古市、釜石市、大船渡市、陸前高田市等へ22回
ボランティア活動支援／だいせん応援ハウス：2カ月間で延べ655人
陸前高田市のボランティア／156人

被災者支援

避難者サポートセンター／大曲武道館に3月18日設置
避難者51世帯、116人（11月17日現在）
大曲の花火招待事業／8月27日、286人を招待
震災被災者招待事業／10月15日～11月7日、4回実施し425人招待

その他

緊急消防援助隊／3月11日～4月28日、延べ105人を宮古市と南三陸町に派遣
身元不明者のご遺体100体を火葬（広域所有の斎場で）
職員派遣／延べ341人

※紙面の都合上、紹介できなかった支援活動が、まだまだたくさんあります。
官民挙げて支援活動に取り組んでいる大仙市。活動に参加されたみなさんには、紙面を借りて御礼申し上げるとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

震災被災者招待事業に参加いただいたみなさん。心から笑い、泣き、楽しんでいただいた

2カ月にわたる被災地でのボランティア
655人の精神

3泊4日、寝食を共に被災地で汗した復旧作業
「被災した方の心に寄り添うこと」の大切さを学んだ

初仕事は悪臭との闘い

1次隊の仕事は水産加工場の冷凍庫から流出し、1カ月以上放置されたサンマやサケの回収だった。津波で何もかも失い、がれきだけが残る土地に散在する魚は腐敗が進み悪臭を放っていた。嘔吐しそうになるくらいの経験したことのない強烈な臭い。近くの高台にある避難所から「どうにかしてほしい」という依頼を受けての作業だった。

被災地まで車で約1時間の岩手県遠野市の公民館を借り上げ、ボランティアの拠点「だいせん応援ハウス」を4月18日に設置。6月18日までの2カ月間、3泊4日の日程で、20次隊まで延べ655人のボランティアが活動した。毎日約20人が活動できたため、被災地のボランティアセンターでも頼られる存在に成長していった。

震災直後、ボランティアの受け入れ側と派遣側の調整が難航している状況だった。被災地でのボランティアは自分で移動し、宿泊や食事を確保するなど被災地に迷惑を掛けない、いわゆる自己完結型の活動でなければならない。市では100㌔被災地に迷惑を掛けない方法として応援ハウスの設置を決定。市社会福祉協議会とも協力し、ボランティア活動を希望する市民を行政が全面的にバックアップする仕組みを考えた。全国でも珍しい試みとして注目された。

頼りになる市民育つ

毎日約20人のボランティアが寝食を共にし活動。被災地の要望に合わせ活動。家屋の清掃、がれき撤去をはじめ、日替わりで多岐にわたる作業をこなした。

応援ハウス撤収後の7月からは陸前高田市の旅館3部屋を借りて宿泊所として提供。食事や交通手段はボランティア側が用意する。活動レベルを一段高く、自己完結型により近づけた。

655人の崇高なる復興への精神。いざというときの「頼りになる市民」として、災害に強い新たな大仙市に引き継がれる。

1流出し放置された魚の回収は悪臭の中での作業2床板を上手に外し泥を片付け3天井付近まで浸水した保育園の調理室4おびただしい量のがれき5 6食堂でもあり寝床でもある56畳の大広間

Voice

被災地で大仙市から来ましたと言えば、現地の方々に喜ばれました。頼りにされたことを誇りに思います。息の長い被災地支援がまだまだ必要です。

第2、9、10次隊員
渡邊 亨 さん（大曲緑町）

被災地の現状が切なく、話すこともためらうほどでしたが、「人とのつながり」を痛感。被災地での体験を伝えることが今後の私の務めと考えています。

第11次隊員
斎藤恵子 さん（寺館）

被災された方が心から発した「疲れた」という言葉に、黙っていられず陸前高田市でも活動。ボランティアは「今自分ができること」で特別なことではありません。

第12次隊員
髙橋静子 さん（東今泉一本木）

1次隊から20次隊までのメンバー655人

魚の回収、家屋の清掃・片付け、側溝清掃、物資の仕分け、草刈り作業、がれき撤去、引っ越し作業、花の種まきなどいろいろな作業を行った

絆

紡ぎ続ける265日

大仙の思い　三陸へ届け

届け希望の光

7月16日、岩手県宮古市田老で打ち上げた鎮魂と復興を願う花火

私たちは　決して　忘れない
　2011. 3.11　日本で何が起きたかを
私たちは　見つめ　受け止める
　被災地の惨状を　自分のこととして
私たちは　支え合い　助け合う
　同じ時代を生きる　人間として
私たちは　一生懸命　考える
　復興のために　いま何ができるかを
私たちは　ともに　歩む
　光り輝く　明るい未来に向かって

灯せ　希望の光！　つながれ　ニッポン！

COLUMN

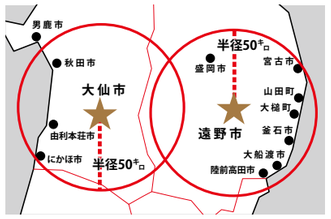
岩手県遠野市長

本田 敏秋

Profiles

ほんだ・としあき
神奈川大卒。昭和45年県庁入り。消防防災課長、久慈地方振興局長などを経て平成14年の旧遠野市長選で初当選。17年の合併に伴う新市長選に無投票当選。現在2期目。遠野市出身。64歳。

»沿岸からの距離　大仙市・遠野市の比較



太平洋沿岸に対する遠野市、日本海沿岸に対する大仙市。地理的条件は似ている

遠野市の後方支援「扇の要」機能

― 津波が来ないからこそ、果たせる支援 ―

民話の里・岩手県遠野市が東日本大震災以降、後方支援の一大拠点として機能している。被害の大きい岩手県の沿岸6市町が半径50㌔圏内にある地理的条件に加え、地質的にも災害に強く、後方支援の好条件がそろう。震災前から後方支援の構想を掲げ、備えてきた遠野市。日本海側で今回のような災害が発生した場合、大仙市も遠野市と同じような役割を果たせるのか。先進地に学ぶべきことが多い。

自衛隊の基地となった遠野運動公園（写真左）
遠野市災害対策本部に駆け付けた沖縄県医師会医療チーム
写真提供：遠野市

遠野を拠点に集結、展開

3月11日の震災発生から、わずか14分後の午後3時。遠野市は遠野運動公園の開放を決定。自衛隊を受け入れるための準備を開始した。

同日夜、北東北3県や北海道などから陸上自衛隊の部隊が集結。警察や消防隊、医療チームも全国から集まり、20日までに約3500人の支援部隊が遠野市に集結し、被災地に展開する形が即時に、それもスムーズにでき上がった。

地の利を生かして

遠野市は沿岸部の宮古市、山田町、大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、さらに内陸部の盛岡市や奥州市まで半径50㌔圏内にある。防災ヘリコプターで約15分、陸路でも約1時間の時間距離。まさに「扇の要」となっている。また、遠野市の地質は花コウ岩で安定し、災害に強い地域でもあり後方支援拠点となりうる好条件がそろっている。

現実のものとなった構想

過去100年で「明治三陸地震」「昭和三陸地震」「チリ地震津波」といった大きな津波が押し寄せた岩手県沿岸部。今後30年以内に99㌫の確率で発生するといわれている「宮城県沖地震」に備えた体制の構築が求められていた。

遠野市は平成19年度から「地震・津波被害における後方支援拠点施設整備構想」を進めた。同年の岩手県総合防災訓練、翌20年の東北方面隊震災対処訓練（みちのくALERT2008）では、地震津波災害が広範囲に発生したことを想定。運動公園や河川敷で、自衛隊・警察・消防・医療機関・住民などとの合同訓練を実施し、宮城県沖地震に備えてきた。また、今後予測される災害に対し速やかに対応できる「後方支援拠点施設整備」の必要性を国や県に提案している。

沿岸部の背後地としての自覚を持ち、近隣自治体との連携強化。市民ボランティアの募集や炊き出し、生活用品の搬送、被災した方の受け入れなどあらゆる後方支援を市民と一緒に行った。防災訓練を重ねてきた遠野市は11月4日、政策本位の政治の実現を目指す「第6回マニフェスト大賞」の復興支援賞を受賞した。

大仙市の果たす役割は

今回のような震災が日本海側で起こったらどうだろう。

日本地図を奥羽山脈で折り返すと、大仙市は遠野市と重なり合う。内陸部の大仙市が遠野市のような役割を担わなければならない。

大仙市は、県内12市や国道107号を軸とした大船渡市や釜石市、北上市など、国道46号を軸とした盛岡市、宮古市、そして神奈川県座間市と災害時における応援協定を結んでいるが、安心してはならない。より一層の連携強化。災害に備えた準備を住民と企業、行政が一緒になって進めなければならない。

花火の〝ちから〟で元気になってほしい
ご百縁花火で鎮魂

活動はチームからネットワークへ、人の輪が広がり 一口500円で、112万円もの浄財が集まった

鎮魂と復興を願い

浜風が太平洋沿岸特有の深い霧を運ぶ中、鎮魂と復興を願う花火が7月16日、岩手県宮古市田老の「グリーンピア三陸みやこ」で打ち上げられた。グリーンピアの敷地内には仮設住宅が建設されており、約400世帯が暮らす。

初めは献花を意味する銀菊のスターマインを打ち上げ、そして美しいふるさとの風景を忘れないでほしいというメッセージを込めて、「故郷」の曲に合わせてのミュージック花火。先が見えない被災地の心の霧を花火で晴らそうとするかのように約1200発の花火が打ち上げられた。

花火を打ち上げたのは「花火ときめきネットワーク」（佐藤美佐子代表・会員24人）。5月末、メンバーの田老地区に住む知人から、「花火の力で元気にしてほしい」と依頼された。

1カ月半で112万円

依頼を受けすぐに一口500円の「ご百縁（ひゃくえん）追悼花火募金」をスタート。目標額50万円で200発以上の花火を予定したが、目標を大幅に上回る約112万円の浄財が集まった。

「被災地のために〝何かしたい〟〝力になりたい〟と多くの人が思ったはずですが一人では何もできません。また花火に快く寄付してくれる市民性から多くの協力を得ることができました。花火には元気や勇気を与える力がある」とメンバー。

来場者は予想を上回る約4500人。「みんなの募金や応援、心の慰みが天まで届いたと思います。多くの人に喜んでいただきました」とメンバーの晴れやかな表情が印象的だった。

1霧に包まれる中、献花を意味する銀菊のスターマインで幕が開けた2 3子どもたちには花火線香やぬいぐるみなどがプレゼントされた4仮設の共同店舗「たろちゃんテント」前での集合写真。メンバーの笑顔がまぶしい5花火玉の募金箱は市内20カ所に設置された

WORD

※花火ときめきネットワーク

平成17年に設立し、女性の感性を生かし、女性の視線から花火を楽しむ活動などを行っている。当初「ときめきチーム」だったが、今回の活動から活動の輪が広がり「ネットワーク」と改名。

www16.plala.or.jp/TOKIMEKI/

Voice

一つの団体では「できる」ことに限界があります。

人との縁、そして団体などがつながることで、広がりを持った事業を実現することができました。

花火ときめきネットワーク代表
佐藤美佐子さん
（戸地谷大和田）

花火のまちだからできること
大曲の花火が釜石の空に

意気に感じた花火業者は珠玉の作品を持ち寄った 大曲の花火の象徴「尺玉」と「創造花火」で希望を伝える

1釜石の夜空を大輪の花で彩った尺玉。釜石の特産であるサケのオブジェと10号割物花火2打ち上げ現場は市街地から2㌔離れた埠頭3花火の筒を設置し、打ち上げの安全を願い、お神酒で現場を清める4打ち上げに参加した市内4業者の花火師5約8,000人の人出でにぎわった釜石復興イベント「たちあがろう釜石」

サプライズ企画が夜空に

10月23日、岩手県釜石市では震災後初の大規模なイベントが行われた。釜石復興イベント「たちあがろう釜石」。来場者は約8000人、会場は身動きできないほど混み合った。

イベント終了の午後5時、「終了時刻となりましたが、スペシャルプレゼントを用意しています。ただいまから大曲の花火を打ち上げます」とアナウンスされると、会場に歓声と拍手が巻き起こった。

サプライズ企画として、主催者から大曲の花火協同組合（久米川正行組合長）が依頼を受けた。釜石では初の打ち上げとなる直径30㌢の尺玉や大曲発祥の創造花火が、釜石の夜空に大輪の花を咲かせた。

新たな一歩のきっかけ

打ち上げ現場は、安全面を考慮してメーン会場から約2㌔離れた埠頭。尺玉などの大玉や釜石の四季をイメージした創造花火が、悲しみを乗り越え、新たな一歩を踏み出そうとする釜石に希望の光を届けた。

夜空を染める一発一発に拍手する観覧者。花火を撮影する私の隣の親子から、「見たことのない花火がたくさん打ち上がった。元気と勇気をもらいました」と感謝の言葉をいただいた。

WORD

※大曲の花火協同組合

大曲の花火の地位向上のために昭和57年に設立され、来年で30年を迎える。現在は市内花火4業者で構成される。
今回は7号、10号の大玉割物と釜石の四季を表現した創造花火など約800発を打ち上げた。

Voice

依頼を受け、花火打ち上げを快諾させていただきました。釜石初となる尺玉、創造花火。「大曲の花火」の名にふさわしい花火を打ち上げることができたと思います。

大曲の花火協同組合組合長
久米川正行さん
（神宮寺福島）

秋田の郷土料理「だまこ汁」と太田産あきたこまちを振る舞う
だまこ汁の味は「地域の思い」

太田中学校は6月から全校で大槌中学校と交流を図る
2年生は笑顔と元気をだまこ汁に込め届けた

1太田中の活動のヒントになった写真。真ん中の人物の後ろに小さな赤い花が咲いていた。「色彩のない大槌に、太田の花を届けよう」を合い言葉に、太田中学校の活動は始まった
2仮設住宅の暑さ軽減のために贈った、太田中全校生徒が作った応援メッセージ入りうちわ。大切に使っていると話す仮設住宅の方々が多かった。「だまこ汁で心も体も温かくなった。短い時間の交流だったが、別れがたい」と話してくれた
3８月24日、25日、大槌中学校の仮設校舎が建設されている大槌町総合運動公園に花のプランター300個を届けた３年生
4 10月25日、仮設住宅にパンジー460鉢を届けた１年生。メッセージを添えて一軒一軒に届けた

太田産だまこ汁 笑顔と元気を込めて

朝霧が立ち込める11月1日午前6時30分、太田中学校2年生63人が登校。バス2台に乗り込み、世帯数80の岩手県大槌町吉里吉里地区の仮設住宅を目指した。

横沢の曲ネギなど太田の食材を使った「だまこ汁」を仮設住宅に住む方と一緒に食べ、温かい「こころ」と太田産あきたこまちの新米を届けようというもの。

だまこ汁250食分の食材や新米540㌔は、保護者をはじめ地域の協力で集まった。

地域の思いと元気を込めただまこ汁。緊張と不安が募る子どもたち。滞在時間はわずかに3時間。太田中2年生の挑戦が始まった。

がれきに咲く 一輪の赤い花

全校生徒が被災地を訪れ活動している太田中学校（今井聰校長、生徒数180人）。活動のヒントは、大槌町で撮影した1枚の写真だった。東日本大震災から3カ月後の6月、太田中教職員と生徒会代表が被災地視察の際に撮影したもの。灰色にくすんだがれきの中で老夫婦が赤い花を植え、手入れをしていた。色のないまちにショックを受けた生徒の心を赤い花が和ませてくれたという。

「色彩（いろ）のない大槌に、太田の花を届けよう」

太田は地域を挙げて花壇コンクールを開催するほどの〝花のまち〟。早速準備に取りかかり、8月下旬に3年生が育てたベゴニアやサルビアのプランター300個を大槌中学校に送り届け、10月下旬には1年生が大槌町の仮設住宅にパンジー460鉢を配付した。

2年生は、1年生から「太田中の笑顔と元気を届けてほしい」というバトンを託されての出発となった。

互いを思う心 それが本物の強さ

午前10時40分、現地に到着。直ちに活動を開始した。

鍋が温まるまで、男子は仮設住宅一軒一軒を訪ね、新米5㌔を配りながら在宅を確かめ、「だまこ汁を一緒に食べるか」「何食必要か」などの情報を収集。また、女子は仮設住宅が敷地内にある吉里吉里中学校の給食時間に、だまこ汁を配った。

食欲そそる匂いが辺りに漂いはじめると、いよいよ昼食時間。平日の昼だったが約30世帯の方々と昼食を共にできた。漬け物やおにぎり、太巻きなどを添えて歓迎する家庭、ベンチとテーブルを出して複数世帯での食事など、スタイルはさまざま。熱々のだまこ汁を食べながら、震災時の様子、津波の怖さなど被災地の被害と現状に耳を傾けることができた。

「笑顔がたくさんあふれ、うれしかった」「復興に向けたひたむきな姿を感じた」「家族の深い絆や愛情を知った」「本当の強さとは、逆境にめげず生き抜き、互いを思いやる心」など、短い交流だったが、それぞれのドラマの中で、多感な子どもたちは、震災を我がことのように受け止め、そして考えた。

被災地で暮らす人たちに寄り添い、生き様や心意気を知った濃厚で貴重な時間。帰りのバスに向かって「ありがとう」と叫びながらいつまでも手を振る仮設住宅の人たち。子どもたちも「また来るからね」と手を振り続けた。

地域の協力で実現できた活動。「地域の思い」という心温まる太田の「こころ」を届けることができた。私たちよりもはるかに厳しい状況に置かれている被災地のために何ができるのか。太田中の活動は、今後も続く。

5ダシ取りや具材の下ごしらえは前日に2年生女子と保護者が行った。だまこ汁250食分の食材、太田産新米あきたこまち540㌔は保護者や地域の方々から提供を受けた
6釜石市の新日鉄釜石前の丁字路を曲がると見えてくる被災地の状況に、にぎやかだった子どもたちの話し声が消え、息をのむ
7仮設住宅一軒一軒にメッセージを添えたあきたこまちの新米５㌔を配る男子生徒
8吉里吉里中学校にだまこ汁を届ける女子生徒
9道路にベンチとテーブルを出してみんなで食べるグループ
10被災地の生活の今を聞くことができた

Voice

とても不便な生活を送っている被災地の方々。力強く生き抜く姿に頭が下がる思いでした。助け合いや支え合って生活することの大切さを実感しました。

太田中学校JRC事務局長
煤賀美亜さん（太田町三本扇）

特産物を持ち寄り交流
「余目ほたる新そば」と「サケのちゃんちゃん焼き」

サケとネギ、キャベツ、タマネギなどの野菜をみそ仕立てにし、一緒にアルミホイルに包んで蒸し焼きにする「ちゃんちゃん焼き」。会場にはおいしい匂いが漂った。

もともと漁師が船の上で料理したメニュー。宮古市ではよく食べられ、サケの身が箸でほぐれるようになったら、サケと野菜を混ぜて食べる。この豪快な料理を初めて食べる参加者は多かった。

内小友の余目直売所で11月5日、余目ほたる新そばの試食会が行われた。余目いきいき会議協議会（加藤加一会長）が毎年行っている秋の恒例行事。今年は、新そばを食べてもらい東日本大震災の被災地を応援しようと、大曲、宮古両商工会議所の協力を得て宮古市白浜地区の仮設住宅で暮らす15人と南部鮭加工研究会（佐々木信男会長）の会員ら10人の計25人を招待した。招待客以外から参加料1人500円を集め、被災地への寄付に回した。

ほたるの飛び交う自然豊かな余目地区。減反対策としてそばを栽培し「余目ほたるそば」と名付け販売している同協議会。加藤会長は「地区を挙げて白浜地区のみなさんを歓迎します。心づくしの新そばを用意しました。自然の試練ではなく、今日は自然の恩恵を心ゆくまで楽しんでほしい」とあいさつし、新そばを振る舞った。

白浜地区の自治会長で宮古漁協の理事も務める下川信義さんは「83世帯215人が生活していた白浜地区では、12棟が津波で流されました。同地区には秋田から嫁いでいる方がいるなど、縁を感じます。神も仏もいないものかと一時は思いましたが、このようなおもてなしで心も体も癒されます。この縁を大切にして長い付き合いになるよう交流を続けたい」と話す。

両地区が特産品を持ち寄り始まった交流。「浜のものもおいしいが、里もおいしい」と白浜地区の人たち。この縁を大切にし、末永い交流を深めたいと顔をほころばす。

1

2

3

4

5

1みそ仕立ての野菜をサケの上に乗せ、アルミホイルに包んで蒸し焼きする「ちゃんちゃん焼き」
2南部鮭加工研究会の佐々木会長（写真右）が調理方法などを紹介
3白浜地区の女性がサケ汁を調理してくれた
4 5おいしいものを食べると笑顔があふれる

Voice

余目自慢のそばと宮古の秋の味覚であるサケ。それぞれの特産品を持ち寄っての交流。この縁を大切に温め、互いの活性化につながればと思います。

余目いきいき会議協議会会長
加藤加一さん
（内小友太田）

少しずつ漁港の復旧が進み、震災前の3分の1ほどの水揚げができるようになりました。今回の訪問をきっかけに交流を深めたいと思います。

宮古市白浜地区自治会長
下川信義さん
（宮古市）

紡ぎ続ける265日

大仙の思い　三陸へ届け

協和小5年生がコメ100㌔を被災地の仲間に送る
私たちが育てたコメで笑顔になってほしい

大手スーパー・イオンが栽培委託している協和小種の農業法人「たねっこ」で農業体験している協和小学校5年生52人。農薬を通常の半分に抑えた特別栽培米のあきたこまち100㌔を被災地に送る出発式が11月4日、イオン大曲店で行われた。

被災地への支援を模索していた協和小。震災後に仙台市若林区の荒浜小学校からの転校児童を通じて被災地の状況を知り、津波で校舎が壊れ、近くの学校に間借りして授業を受けている同校児童を応援するため、コメを送ることを決めた。

協和小校歌3番の歌詞にある「未来を見つめチャレンジだ」を合い言葉に活動している同校。「復興への道のりは長く復興を担うのは子どもたち」と藤本竜伸校長は、気持ちを一つにチャレンジしている子どもたちを見守る。

農業体験4年目の協和小。今年はイオン社員が荒浜小にコメを届け、11月30日の同校のおにぎりパーティーで使われた。新米がつなぐ2つの小学校。つやつやのおむすびのように縁を結んだ。

1

2

3

1協和小5年生の元気を届ける
2イオン社員に託す協和小児童
3 10月5日に行われた稲刈り

Voice

「荒浜小学校のみんなが元気になってほしい」という協和小5年生の元気が詰まっています。私たちが育てた特別栽培米を食べて笑顔になってください。

協和小学校5年
加藤愛梨さん
（協和小種）

これからは心のつながり、地域コミュニティーの再構築のお手伝いを
大曲商工会議所青年部、土屋館衆、年代会、商店街、各種団体と個人が連携

大曲商工会議所青年部の声掛けで、花火通り商店街有志や街のにぎわいづくりに関わる団体の会員らが立ち上げた土屋館衆、市内の各種団体や会議所会員の多くの知人・友人が協力し、被災地への独自支援を続けている。

「陸の孤島と化し、支援が届きにくい小さな町こそ我々が応援しなければ」と、初めは岩手県山田町の大沢小学校と大槌町の吉里吉里小学校を活動の場所に選んだ。共に津波で壊滅的な被害を受けた地区。震災1週間後から独自に支援を始めた。

現地の知人や避難所の責任者と直接連絡を取り合い必要な支援を行い、そこで新たに情報を得て、次の活動へと広がっていった。11月現在で22回も現地を訪れ活動している。

初めは物資の提供。次は避難所の食事がおにぎりやパンが中心と聞き、栄養面を考え炊き出しに変更。不足しているたんぱく質やビタミンを補ってもらおうと、一回あたり1,500食規模で焼肉や野菜炒めを炊き出したこともあった。しかし、夏あたりから避難所の空気が変わってきた。提供だけでは、現地商業再生の足を引っ張ることにもなる。

避難先でのコミュニティー作り、隣人同士のつながり、再生が課題となってきた。仮設住宅に入居できても抽選によるため隣近所は知らない人ばかりで、ふさいだ気持ちをますます助長させてしまう。

そこで、ご当地グルメ団体の仲間や音楽グループと一緒に出かけ、現地のイベント協力に進路を変更した。

「地域がバラバラになり心までバラバラにならないためのコミュニティー作り、地域の再構築が求められています。まつりには意味があり力がある。人との結びつきを太くし、気分転換、ガス抜きの効果もある。これからも被災地の要望に合った活動を続けたい」とメンバーの一人は話してくれた。

1

2

1 10月2日の名取市愛島笠島仮設住宅広場で行った活動は音楽バンドとともに活動
2同日、生ビールも振る舞いまつりのムードを盛り上げる。お酒も入り住民の交流も滑らかに

岩手沿岸部の被災された方々が大仙の稔りを満喫
笑った、語った、泣いた

仮設住宅などに住む425人を無料で招待
秋の稔り、そして〝音〟と〝光〟でもてなした

❶全校音楽で知られる大川西根小学校の第41回楽器まつり演奏会。同校1、2年がピアニカ、3年がリコーダー、4年以上が弦、金管、打楽器を演奏する。第1部が全校音楽演奏会で第2部がウエストドリームミュージカル。20年目を迎えるミュージカルの題名は「シオンが教えてくれたこと」。「みんなの心が一つになること」の大切さを約1時間の音楽劇で表現した。子どもたちの演奏演技が感動の涙を誘った
❷仙北市の「安藤兄弟」の和太鼓演奏に会場は大盛り上がり。自然に手拍子が湧いた
❸公立の小学校では唯一パイプオルガンが設置されている大川西根小学校。パイプオルガンの荘厳な音色を初めて聞く方も多く、心から癒されたといった感想が数多く寄せられた。倉橋三紀子さんの演奏以外にも、パイプオルガンの音が出る仕組みについての体験や倉橋正伸さんのリコーダー演奏などで和ませた
❹❺希望者にはマッサージや理美容のサービスも提供。マッサージ師や理容師、美容師が、招待者が宿泊する施設に出向きサービスを行った

「感謝」という言葉に包まれて

11月6日に行われた大川西根小学校（佐藤千鶴校長、児童数71人）の「第41回楽器まつり演奏会」のエンディングは、「感謝」という言葉で会場が包まれ、感動の涙、そして拍手が鳴り止まなかった。

全校音楽活動50年、楽器まつり40周年を昨年迎え、新たな一歩を踏み出した同校。今年は紡ぎ上げてきた伝統に岩手県の4市町の被災地の方々を招き、音楽をとおしてひたむきに努力する子どもたちの姿から、招待者は勇気と元気、そして感動をもらった。

425人を無料招待

市が被災地での支援活動でお世話になった岩手県宮古市、大槌町、大船渡市、陸前高田市の被災した方を招待するリフレッシュ事業を企画。参加者を募集し、抽選に当たった425人を10月15日から4週にわたり、1泊2日と2泊3日の日程で無料招待。市がバスで送迎し、市が所有する温泉施設に宿泊。大川西根小学校でのパイプオルガン演奏、同小の音楽活動、和太鼓演奏や花火ショー、そして希望に応じて市内酒蔵や紅葉が始まった旧池田氏庭園の見学、ボランティアの理美容やマッサージのサービス、無料のフリーマーケットを行った。大仙市の秋の稔りを楽しんでもらう目的で、夏の大曲の花火への招待に続く事業だ。

大仙市の心を満喫

温泉や花火の打ち上げなどを楽しみに訪れた参加者からは、たくさんの感謝の言葉をいただいた。

「仮設住宅の風呂は狭いので、温泉に手足を伸ばしてゆっくり入れた」（大槌町50代女性）「津波で車が流され最近車を購入。しかし軽自動車なため家族で旅行ができず、久ぶりの家族旅行ができました」（宮古市30代男性）「超有名な大曲の花火を間近に見られるのが楽しみ」（大船渡市20代男性）「至れり尽くせりのおもてなし、逆の立場で私にできるだろうか。本当にありがたい」（陸前高田市40代女性）「仮設住宅での一人暮らしでは熟睡できません。同じ境遇の方と同室になり、今までの悩みを相談できたし、心から笑い、泣くことができました」（陸前高田市60代女性）などの感想が寄せられた。

市では、今回のような被災者の心のケアも引き続き行っていく。

招待者のためだけに打ち上げられた、超プライベート花火。❻和火屋❼小松煙火工業❽北日本花火興業❾大曲花火化学工業、全国に誇る市内の4業者がスペシャルメニューで被災した方へ元気と勇気、希望の光を届けた
花火の打ち上げに合わせ、NPO法人大曲花火倶楽部のメンバーがレクチャー。花火鑑賞の楽しみ方を伝えた

招待記念花火の動画は市のホームページでご覧になれます
www.city.daisen.akita.jp/k/r/

Voice

震災そして慣れない避難所や仮設住宅での暮らしに、だいぶストレスが溜まっていると思います。私たちの活動で身も心もリフレッシュできればと思います。

秋田県鍼灸マッサージ師会
副会長 **高橋和彦さん**
（大曲上大町）

被災地の方々のために何かできないかと思っていた矢先、市から支援の話しをいただき会員の協力を得て、お役に立てたことをうれしく思います。

秋田県理容生活衛生同業組合
仙北支部長 **今田博さん**
（刈和野）

私たちの技術が支援になるのであればとの思いからお受けいたしました。限られた時間でしたが、みなさんの笑顔をうれしく思い、元気をいただきました。

秋田県美容生活衛生同業組合
大曲支部長 **菅原亜津子さん**
（朝日町）

私たちができる支援のチャンスを与えられたと思っています。心からゆっくりしてもらえるよう、パイプオルガンやリコーダーなどでクラッシックや民謡、歌謡曲を演奏しました。

パイプオルガンなどを演奏
倉橋正伸、三紀子夫妻
（大曲日の出町）

5月8日午後4時2分車窓から撮影
被災地でのボランティア活動の帰り、大槌町村近で

曲がりくねった三陸の海沿いの道を歩く度に覚える違和感。おだやかな海と青い空、風光に恵まれた地に刻まれた3月11日の爪痕が、そう思わせる。

初めて被災地を訪れたのは小雪舞う3月18日、震災1週間後のことだった。大船渡市への支援物資、陸前高田市への軽油の輸送だった。緊急車両しか走らない東北自動車道、ひび割れた国道を乗り継ぎ目的地を目指した。

地震発生の同時刻、サイレンが響く中、大船渡市役所で犠牲者に黙とうを捧げたこと。がれきの壁をくぐるように進んだ陸前高田市の道路など、強烈な印象として脳裏に残る。

突然に、そして容赦なく尊い命、夢や希望など私たちの「日常」を奪っていった大震災。大仙市は震災直後から継続的な支援活動を積極的に行っている。ボランティアの拠点施設を遠野市に設け2カ月にわたるボランティア派遣を可能にした「だいせん応援ハウス」は、全国でも珍しい取り組みとして注目を浴びた。また、大曲の花火や市内温泉施設への無料招待、そして市民による支援の輪の広がりなど物心両面にわたる市民総参加の支援が続けられている。

大震災を境に日本は大きく様変わりし、価値観も変わった。また、尊い犠牲を払い、人と人とのつながり、絆の大切さを再確認させてくれたのも事実。

同じ東北に住む仲間として、痛みを感じ、分かち合い、心に寄り添い支え合おう。昨日より今日が、今日よりも明日が後退ではなく少しでも前進であるように、少しずつ失われた日常を取り戻そう。一緒に歩き出すことが、本当の支援であり、明日への元気や希望につながるはずだ。

糸偏に「半」と書いて「絆」。互いが出せる分の糸を出し合い結ぶ。糸の長さや太さは関係ない、その結び目が大切だ。

古い時代から「結(ゆい)」に代表されるような互助制度や社会的共同活動等で地域を形成してきた私たち。今一度、互いの絆を確認しよう。家族、地域、学校、職場などそこには無数の絆が存在し、その結びつきの上に私たちの日常が存在しているのだから。

【特集】「絆」紡ぎ続ける265日 大仙の思い 三陸へ届け
（絆は永遠に続く）

消費生活相談室からのお知らせ

ひとりで悩まず相談はお早めに

職員がキャッシュカードを借りることはありません
還付金に関する詐欺に注意

消費生活相談窓口　消費生活相談室（大曲庁舎２階）☎0187-63-1136
全国共通ダイヤル ☎0575-064-370 ※IP電話等、一部の電話では利用不可

新聞などでも報じられているとおり、市内で振り込め詐欺と思われる不審電話がありました。

こんな手口
「社会保険庁の職員です。医療費の還付金があります」

11月９日の午後１時30分ごろ、市内に住む70歳代の女性宅に「社会保険庁の職員」を名乗る男性から電話がありました。内容は「医療費の戻りがある。お金を振り込むのでキャッシュカードを貸してほしい。別の者がカードを取りに行く」というもの。

そして午後３時ごろ、玄関のベルが鳴りました。しかし、電話の内容を不審に思っていた女性は、ドアを開けなかったため被害には遭いませんでした。

隣県でも同様の不審電話 被害も発生しています

11月以降、同様の電話が青森県や山形県でも報告されています。

また、県内では、電話の内容を信じてしまい、訪問してきた男性にカードを渡して暗証番号を伝え、多額のお金を引き出されてしまったケースもあります。

このような形で還付手続きをすることはありません

今回のように「キャッシュカードを貸してほしい」という手口のほかに、「ＡＴＭに携帯電話、通帳、キャッシュカードを持って行くように」と指示し、ＡＴＭを操作させて、お金を振り込ませる手口も頻発しています。

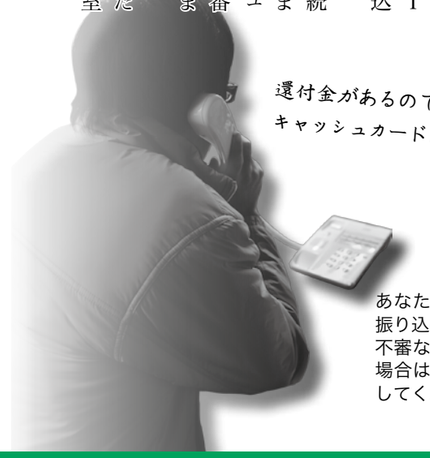
還付金がこのような形で手続きされることはありません。また、官公庁の職員がキャッシュカードを借りたり、直接暗証番号を聞いたりすることもありません。

万が一、不審な電話があった場合は、警察や消費生活相談室に連絡してください。

怪しいと思ったら連絡を！ 消費生活相談窓口

市の相談窓口
消費生活相談室（大曲庁舎２階）
☎０１８７（６３）１１３６

警察の相談窓口
大仙警察署生活安全課
☎０１８７（６３）３３５５（代表）



あなたの財産を狙う振り込め詐欺
不審な電話があった場合は、すぐに連絡してください

「消費生活推進員」を募集

安全・安心な消費生活の推進を図る

消費に関するトラブルなどを未然に防ぐため、市と協働で活動していただく「消費生活推進員」を募集します。

◆**応募資格**／市内在住の20歳以上（平成23年４月１日現在）の方で、市が行う啓発活動や研修会に参加できる方

◆**活動内容**／悪質商法など消費生活問題に関する情報提供、消費者被害の未然防止に関する啓発活動や講座等への参加
※おおむね年４回行う会議への参加時は報酬を支払います。

◆**任期**／２年間

◆**募集人員**／５人程度

◆**申し込み方法**／写真を張った履歴書を消費生活相談室（大曲庁舎２階）に提出※郵送可

◆**申込期限**／12月15日（木）※必着

◆**面接日時**／12月19日（月）午前９時～

◆**面接会場**／大曲庁舎３階第２委員会室

【問い合わせ・申し込み】
消費生活相談室
☎０１８７（６３）１１３６
〒０１４－８６０１
大仙市役所消費生活相談室
（住所省略可）

おおきなせなかに 知って得する

地域情報

中仙 ドンパン踊り練習会

■**日時**／12月20日（火）
午後７時30分～※毎月第３火曜日
■**会場**／中仙農村環境改善センター
【問い合わせ】
中仙観光協会 ☎0187-42-8230

大曲 大曲図書館 クリスマスおはなし会

紙芝居、パネルシアターなど楽しい企画が盛りだくさんです。みなさんの参加をお待ちしています。
■**日時**／12月17日(土)
午後１時30分～
■**会場**／大曲図書館ちびっこルーム
【問い合わせ】
大曲図書館 ☎0187-62-1012

大曲 はなだて広場においで クリスマスお楽しみ会

地域のみなさんと触れ合いながらクリスマスを楽しみませんか。
■**対象**／就園前の乳幼児とその家族
■**日時**／12月22日（木）
午前10時～11時30分
■**会場**／花館公民館
【問い合わせ・申し込み】
佐藤さん ☎0187-63-2013

大曲 大曲スキースポーツ少年団団員募集

■**対象**／大曲地域の小学生
■**期日**／12月23日（金）、平成24年１月８日から３月４日までの毎週日曜日（全10回）
■**時間**／午前９時～正午
■**会場**／大曲ファミリースキー場ほか
■**定員**／先着50人
■**参加費**／7,000円
（保険料・リフト代込み）
■**申込期限**／12月16日（金）
【問い合わせ・申し込み】
大曲スキースポーツ少年団
高橋さん ☎0187-62-4985

大曲 スキーゲノッス大曲クラブ ジュニアスキースクール

スキーゲノッス大曲クラブでは、ジュニアスキースクールの参加者を募集しています。
■**対象**／小学生
■**期日**／平成24年１月８日から２月26日までの毎週日曜日（全８回）
■**時間**／午前９時30分～午後３時
■**会場**／大曲ファミリースキー場ほか
■**定員**／先着50人
■**参加費**／8,000円
（別途保険料、リフト代）
【問い合わせ・申し込み】
スポーツハウスタミヤ（大曲栄町）
☎0187-63-6697

太田 親子でスキーを楽しもう 親子スキースポーツ教室

■**対象**／小学１・２年生とその保護者
■**日時**／１月７日（土）午前９時～正午、14日（土）・21日（土）午前９時30分～正午
■**会場**／大台スキー場
■**定員**／先着15組
■**参加費**／１組２人で2,000円
（受講料、保険料等）※１人追加につきプラス1,000円、リフト代は自己負担
■**申込期限**／12月20日（火）
【問い合わせ・申し込み】
太田スポーツクラブ事務局
（太田公民館内）☎0187-86-9460

双葉小学校・土川小学校
閉校記念式典・思い出を語る会
commemoration of closing school

来春の学校統合に伴い閉校する双葉小学校と土川小学校。両校の閉校記念式典とこれまでの歩みを振り返る「思い出を語る会」を行います。卒業生や地域のみなさん、ぜひお越しください。

双葉小学校

■**期日**／平成24年２月18日（土）
【閉校記念式典】
時間／午後１時30分～
会場／双葉小学校体育館
【思い出を語る会】
日時／午後４時～
会場／西仙北ぬく森温泉ユメリア
参加費／5,000円
■**申込期限**／12月15日（木）
【問い合わせ・申し込み】
双葉小学校 ☎0187-77-2004

双葉小学校

土川小学校

■**期日**／平成24年２月19日（日）
【閉校記念式典】
時間／午後１時～
会場／土川小学校体育館
【思い出を語る会】
日時／午後３時～
会場／西仙北ぬく森温泉ユメリア
参加費／4,000円
■**申込期限**／12月22日（木）
【問い合わせ・申し込み】
土川小学校 ☎0187-75-1116

土川小学校

最優秀作品に選ばれた鈴木さん（写真中央）と優秀作品に選ばれた三浦結子さん（大曲西中３年・写真左）と新田麻衣さん（仙北中３年）

第24回大仙市大曲新人音楽祭コンクール
コンクールのキャッチコピーが決定

第24回大仙市大曲新人音楽祭コンクールのキャッチコピーが、鈴木千絵美さん（大曲高２年）の作品「永遠（とわ）に煌（きら）めけこの刻（とき）、君の音（おと）」に決定しました。

地域を挙げて音楽祭を盛り上げようと、コンクール実行委員会（坂本昌委員長）が市内の中学生・高校生を対象に募集。710作品の応募がありました。

自身も吹奏楽部でクラリネットを演奏しているという鈴木さん。「一つ一つの音が重なり合って、音楽がみんなの心にずっと残ってほしい」という思いをキャッチコピーに込めました。若手音楽家の登竜門とされる同コンクールは、来年１月14日・15日に大曲市民会館で行われます。

豊かな自然を満喫
川口渓谷遊歩道完成記念ウオーキング

真木真昼県立自然公園内にあり、豊かな自然と紅葉の名所として知られる川口渓谷の遊歩道が完成。10月31日に完成記念ウオーキングが行われました。

平成18年に斜面が崩落し、通行止めになっていた道路。21年度から2,544万円をかけて修復工事を行い、遊歩道として開放することとなりました。

整備されたのは奥羽山荘から約1㌔地点の「かぶり岩」から岩手県境付近までの5.5㌔。完成記念のテープカットの後、太田南小学校５年生や参加申し込みした102人はオブ山の大杉入口、二又の景、猿倉の滝、ダルマ滝、白糸の滝、桑原の滝、見返りの滝などを見ながら、紅葉進む渓谷を歩きました。

巨木100選のオブ山の大杉の入口で、地元案内人から説明を受ける参加者

1落下傘をキャッチしようと懸命に手を伸ばす参加者
2大会にはたくさんの子どもたちが参加。ゴールに向かって全力疾走

「がんばろう東北」の旗をなびかせて
第５回全日本残月花火選手権大会

第５回全日本残月（ざんげつ）花火選手権大会が11月３日、神岡地域北楢岡の稲刈り後の田んぼで行われました。

残月花火は落下傘（パラシュート）付きの昼花火で、空から舞い降りる落下傘が夜明けの月に似ていることから「残月」と名付けられました。かつては神社の奉納花火として打ち上げられるなど、市内では古くから親しまれてきた伝統花火で、地域の伝統文化を復活させようと社団法人大曲青年会議所が毎年開催しています。

大会は、落下傘を捕まえ、ゴールするまでの速さを競うもの。市内外から参加した291人の選手は晴れやかな秋空の下、「がんばろう東北」と書かれた落下傘を追いかけ、稲刈り後の田んぼを駆け巡りました。

いつまでもお元気で
佐々木七五三さんが100歳に

太田地域の佐々木七五三さん＝駒場清水向＝が11月６日に100歳の誕生日を迎えられ、８日に山王丸愛子副市長から長寿祝い金が手渡されました。

８人姉弟の長女として生まれた佐々木さんは20歳の時に結婚。現在は弟夫婦と３人で暮らしています。身の回りのことはほとんど自分で行いながら、早寝早起きと３度の食事をきちんと取ることを心がけ、規則正しい生活を送っています。

山王丸副市長から「100歳おめでとうございます」との声に優しい笑顔を見せてくれた佐々木さん。その優しい笑顔でいつまでもお元気で。

山王丸副市長から長寿祝い金を受け取る佐々木さん

錦秋の名勝庭園を見学
旧池田氏庭園秋の特別公開

11月３日から13日までの11日間にわたって行われた旧池田氏庭園（本家庭園）特別公開。期間中、秋季特別公開としては過去最多となる延べ13,638人が訪れ、紅葉や国内最大級の雪見灯籠（ゆきみどうろう）、金唐革紙（きんからかわかみ）で飾られた洋館の食堂兼音楽室など、明治・大正時代の面影が残る庭園を見学しました。

また、隠れた紅葉の名所として知られる払田の分家庭園には、紅葉シーズンに合わせて、たくさんの見学者や写真愛好家が訪れました。11月５日、６日には、大仙市仙北観光協会が野点茶会を企画。訪れた方々は、抹茶を味わいながら庭園一面の紅葉を眺めていました。

1池田家顕彰会会員等の解説を受けながら庭園を見学
2昨年、５年間にわたる修復工事を終えた白亜の洋館
3金唐革紙で飾られた洋館１階の食堂兼音楽室
4大仙市仙北観光協会によるお茶席のおもてなし
5常時公開され、隠れた紅葉の名所として知られる払田分家庭園

recipe.39

健康はバランスよい食事から
ヘルスメイトさんのレシピ

カボチャの中から鶏そぼろ

カボチャのあんかけ

1人分のエネルギー 213kcal、塩分 1.5g

材料（4人分）

- カボチャ……600g
- A
  - 水……2カップ
  - 砂糖……大さじ1
  - しょう油……小さじ1
- 鶏そぼろ
  - 鶏ひき肉……100g
  - ニンジン……50g
  - 生シイタケ……50g
  - ピーマン……40g
  - 砂糖……大さじ1
  - 油……大さじ1
  - 塩、コショウ……少々
- あん
  - だし汁……2カップ
  - しょう油……大さじ2
  - 砂糖……大さじ2
  - みりん……大さじ1
  - 片栗粉……大さじ1

作り方

① カボチャは種を取り除き、皮をところどころむいて8等分に乱切りし、鍋に入れAを加え、柔らかくなるまで煮る。
② フライパンに油をひき、鶏ひき肉とみじん切りにした野菜を炒め、砂糖、塩、コショウで味を調える。
③ あんの材料と大さじ2の水で溶いた片栗粉を混ぜて火にかけてとろみがついたら火を止める。
④ ラップを広げ、①のカボチャの1切れを広げて押しながら伸ばす。その上に②の鶏そぼろをのせ、ラップで茶巾絞りにする。
⑤ ④を電子レンジで2分ほど蒸し、器に盛り③のあんを上からかける。

POINT

※カボチャは水気の少ないもの、皮が濃い緑のものを選ぶとおいしく見た目もきれいに仕上がります。
※正月料理の一品としていかがでしょうか。
※煮付けだけではなかなか食べないカボチャ。鶏そぼろを入れることで、子どもも喜んで食べます。

八嶋 みつ子 さん
（食生活改善推進協議会南外支部）

おおきなせなかに お便り広場

11月号・11月号お知らせ版へのお便り

今回寄せられたのは 32通

内訳／ 感想 30 意見 2

へ ルスメイトさんのレシピで紹介されていた「野菜の三色揚げ」は、とてもきれいでおいしそうでした。私も作ってみたいと思います。
　私は毎朝納豆を食べています。もしプレゼントが当たったら、納豆料理にもチャレンジしたいです。
（大曲地域　62歳女性）

岩 手県宮古市のサンマの振る舞い、協和の秋祭りにも来てほしかったです。
　親子で笑っている表紙の写真、いいですね。被災地の方々も早くみんなが笑顔になってほしいと思います。
（協和地域　68歳男性）

若 いころから読むことや書くことが好きなので、いつも広報を楽しみにしています。
　私は一人暮らし。悪質商法についての記事に興味を持って読み返しています。
（大曲地域　女性）

秋 祭りの様子が写真でよく分かったし、いろいろなイベントが行われていることを知り、大仙市の活気を感じました。
（神岡地域　22歳女性）

い つも広報が届くのを心待ちにしています。表紙写真の炭火で焼いたサンマはどんなにおいしかったことでしょう。
　七輪で焼いて大家族で食べていた昔を思い出しました。
（大曲地域　75歳女性）

多 くの人に楽しんでいただきたいと思い、秋祭りでの作品出品とステージでの歌を頑張りました。元気な限り続けていきたいと思います。
（西仙北地域　74歳男性）

必 ず広報を読んでいます。「いのちを大切に」と「男女共同参画に関する写真コンクール」のページで紹介されていた、大曲高校の生徒の写真が素晴らしかったです。
（協和地域　39歳男性）

節 電のページの「雪国の節電の正念場〝冬〟」を読んで、今年の冬は家族で協力し、心を一つにして節電に取り組みます。
　レシピのコーナーで紹介されていた「野菜の三色揚げ」に挑戦しました。ヘルシーメニューは成功でした。
（大曲地域　76歳女性）

先 日、ある支所に行きました。来客は私一人で10分くらいましたが、職員同士でずっと話をしていました。すごく嫌な気分になりました。
　こんなに大きい建物と多くの職員。必要ないのではないかと思いました。
（30代女性）

夏 の節電目標達成！何事もやればできるんですよね。わが家も待機電力を無くそうと、主電源を消すようにしてみたところ、かなりの節電になったので驚きました。意識を高めることは、本当に大切なことだと改めて感じました。
　これから冬を迎え、雪国の私たちはどんな方法で節電していけばいいのか。ただ今模索中です。
（仙北地域　51歳女性）

私 の家では日中、母親一人になるので、広報に載っていた悪質商法について勉強しました。いろいろなだまし方があり驚きました。知らない人は家に上げない、その場で契約などしない、困ったら近所の人に相談するなどを決めました。だまされないように注意したいです。
（仙北地域　32歳女性）

家 庭でできる温暖化防止のページは、まとまった内容で分かりやすかったです。
　ただ、緑地の上に文字を並べた部分が見えづらかったです。
（大曲地域　70歳男性）

広報担当から

貴重なご意見、ありがとうございます。見えづらいレイアウトをしてしまい、大変ご迷惑をおかけしました。
誰もが見やすく、気持ちよく読むことができる広報紙を目指し、一層努力していきます。

男 女共同参画に関する一行詩がよかったと思います。自分で見て、感じたことをそのまま言葉にすることは、正直な自分がそのまま出るのでいいですね。私も書いてみます。
（協和地域　53歳女性）

ド リンクテーリングに初めて夫婦で参加しましたが、花火通り商店街いっぱいに人が集まっていてびっくり。楽しかったです。今年で20回目と聞きました。市長さんも来ていましたね。来年のドリンクテーリングにも行ってみようと思います。
（中仙地域　55歳女性）

エ コについてのページを読みました。今の世の中、たくさん読むものがありますが、必ず目をとおすこともエコではないかと思います。広報も隅から隅まで読みました。
（太田地域　56歳女性）

な かなか知ることができない情報を広報を通じて知ることができるので、とてもありがたく思っています。
（中仙地域　55歳男性）

い つも楽しく広報を読んでいます。たくさんの笑顔が載っている広報紙、私は大好きです。
（太田地域　30歳女性）

全 県500歳野球大会での素晴らしいプレーの数々と、選手のみなさんの笑顔がとてもよかったです。
　来年も若々しいプレーを見せてください。
（西仙北地域　54歳男性）

雪 国の節電の正念場〝冬〟と言われるといささか不安に駆られます。夏は過度な節電対策で、全国的に熱中症患者が急増しました。
　夏場の経験からいろいろと学習しました。節電の努力はもちろん必要だと思いますが、過度な対応で体調を崩さないよう気を付けなくてはと思います。特に近所の一人暮らしの方には気を配っていきたいです。
（大曲地域　49歳女性）

お便りお待ちしています

「お便り広場」はみなさんのページです。市政に対する質問・意見など、みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。

あて先はこちら

〒014-8601（住所不要）
大仙市企画部総合政策課

手紙・ハガキ、FAX（0187-63-1119）またはEメール（kouhou@city.daisen.akita.jp）で送ってください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」と記入ください。

健康通信

問い合わせは各健康増進センターへ
健康増進センター ☎0187-62-9301
中央（大曲保健センター内／大曲地域） ☎0187-62-1015
西部（西仙北庁舎内／神岡・西仙北・協和・南外地域） ☎0187-75-0476
東部（中仙庁舎内／中仙・仙北・太田地域） ☎0187-56-7211

受診期限は12月31日（土）

成人歯周疾患検診

今年度の歯周疾患検診の受診期限は12月31日です。通知が届いた方でまだ検診を受けていない方は、通知に記載されている「協力歯科医療機関」に予約の上、受診してください。（通知に記載されている休日歯科診療でも受診できます）

◆**対象**／市内在住の今年度40歳・50歳・60歳・70歳になる方
◆**自己負担額**／1,000円
（検診料3,500円のうち、市が2,500円を助成）
※対象者によっては無料の場合があります。通知を確認ください。
◆**受診期限**／12月31日（土）
◆**検診内容**／歯肉周りの状態やむし歯の有無等の検査、歯の磨き方指導など

対象外の方も定期的に歯科検診を受けましょう

成人の８割がかかっていると言われる歯周病。気が付かないうちに進行し、悪化すると全身に悪影響を及ぼします。歯周病の原因は歯磨きで落とせなかった歯垢や歯石。自覚症状が出る前の早い時期から指導と治療を受けることで、歯を抜かずに守ることができます。定期的に歯科検診を受けることをお勧めします。

薄いピンク色で、歯と歯の間が三角形にひきしまった健康な歯肉を保ちましょう

歯周病の予防には、バランスの取れた食事と歯ごたえのある物をしっかり噛むこと（１口30回が目安）が大切です。また喫煙は、歯肉の抵抗力を弱め、歯周病を進行させるため控えましょう。

今年度中に２回目の接種を終えましょう

子宮頸がん予防ワクチン接種

子宮頸がん予防ワクチンの無料接種を行っています。ワクチンの十分な効果を得るためには６カ月以内に３回の接種が必要です。今年度中に全３回の接種を終えることができない場合でも、平成24年３月31日までに２回目の接種を終え、24年度中に３回目を接種する場合は、接種費用が無料になります。（転出した方は対象外）

現在、対象者のうち約８割の方が１回目の接種を終えています。まだ１回目の接種を受けていない方は受託医療機関に予約の上、早めの接種をお願いします。

受託医療機関の一覧は、だいせん日和３月号22ページまたは市ホームページ（www.city.daisen.akita.jp）をご覧いただくか、問い合わせください。

◆**対象**／市内在住の中学１年から高校３年相当の年齢の女子
◆**接種回数**／３回
※２回目は初回から１カ月後、３回目は初回から６カ月後
◆**接種費用**／無料

【無料で接種を受けられる例】
①平成24年１月に１回目
②２月に２回目（①の1カ月後）
③７月に３回目（①の６カ月後）

【接種費用が有料になってしまう例】
（①平成24年３月に １回目を無料で接種）
②４月に２回目（①の１カ月後）
③８月に３回目（①の６カ月後）

別の予防接種と時期が重なり、予定どおりに接種できなくなる場合もあります。早めの接種をお願いします。

乳幼児突然死症候群（ＳＩＤＳ）とは何か知っていますか

ＳＩＤＳから赤ちゃんを守りましょう

それまで元気だった赤ちゃんが眠っている間に突然死亡してしまう「乳幼児突然死症候群（ＳＩＤＳ）」。平成22年には、全国で１４０人の赤ちゃんがこの病気で亡くなっています。

発症原因はまだ分かっていませんが、次の３つのポイントに気をつけることで、発症率を下げられることが研究で明らかになっています。

ＳＩＤＳの発症率を下げるためのポイント／

○うつぶせ寝を避ける
うつぶせ寝はあおむけ寝に比べて、ＳＩＤＳの発症率が高いという研究結果があります。必要な時以外は、赤ちゃんをあおむけに寝かせましょう。

○喫煙をやめる
両親が喫煙する場合、ＳＩＤＳの発症率が高くなるというデータがあります。妊婦時の喫煙はもちろん、妊婦や乳児の側での喫煙を避けるよう、身近な人の協力が必要です。

○できるだけ母乳で育てる
母乳で育てられている乳児は、人工乳の場合よりＳＩＤＳの発症率が低いと言われています。（人工乳がＳＩＤＳを引き起こすわけではありません）

参考／厚生労働省・ＳＩＤＳ対策強化月間リーフレット

大曲仙北医師会

大曲中通病院
消化器内科
佐藤　厚史 医師
大曲上栄町 6–4
☎0187-63-2131

～早期発見で治療につなげよう～

大腸がん検診について

Talk about Colorectal Cancer Screening

Medical Chart no.54

日本人の死因のうち、がんによる死亡が1位になって久しく、その数はまだ増加傾向にあります。

残念ながら秋田県では、がんによる死亡率が平成22年まで14年連続で全国1位となっています。一方で欧米では、がんによる死亡は徐々に減少しています。医療レベルに大差はないはずですが、健康診断の受診率がアメリカで80％であるのに対し、日本では30％に達していないことがこの違いの背景にあるのではないかと考えられます。

がんが死因となるケースで最も多いのが肺がんで、胃がん、大腸がんと続きます。しかし、がんの発生数自体は大腸がんが最も多く、次いで胃がんとなっています。つまり、大腸がんは治る可能性が高いがんなのです。治療するためには早期発見が必要ですが、そのための大切な手段が大腸がん検診です。

大腸がん検診では、一般に便潜血検査が行われています。これは、便の中にわずかにある血液の反応を調べるもので、通常２日間にわたる便を検査します。検査結果が１回でも陽性であれば、精密検査が必要になります。現在行われている精密検査は、大腸内視鏡検査のみか大腸内視鏡検査に大腸造影検査を加えて行われるものです。

胃や肺などで精密検査する場合は、胃カメラや胸部ＣＴによる検査のため、当日の朝から絶食する程度の準備で済みますが、大腸の検査の場合、前日の食事にも注意が必要となり、当日には２㍑ほどの下剤を飲まなければなりません。また、大腸の検査は、お腹に空気がたまるため苦しい検査です。そのため、便潜血検査で異常が見つかっても「痔があるから」「便秘していたから」などと自分を納得させて精密検査を受けない方が多いようです。

直腸がんやＳ状結腸がんなど肛門に近いがんは便秘や下痢などの排便異常がでたり、排便時に出血を伴うことで気が付くこともありますが、ほとんどの場合、がんがかなり進行しないと症状は現れません。そのため、症状が出てきている大腸がんは深刻なのです。

私見ですが、３年に１回大腸内視鏡検査を行えば、大腸がんで死亡する人は激減すると思われます。しかし、この検査は苦しく、場合によっては大腸に穴が開いたりすることもあります。だからこそ、安全にできる便潜血検査をできるだけ多くの人に受けてほしいと思います。

検査結果が陽性だった方は精密検査を受けてください。根治できるがんを見つけられるチャンスです。医療側も安全に、できるだけ苦痛のない検査ができるよう研鑽を積んでいます。

健康の達人

Letter from Omagari-Semboku Medical Association Master of HEALTH.

大曲仙北医師会からの便り

大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから http://www.omagari-med.or.jp
携帯電話から http://www.omagari-med.or.jp/i/

シリーズ「高齢者夫妻の安心生活」
花子さん・太郎さん夫妻と地域包括支援センターの関わりをシリーズで紹介

シリーズ1 悪質な訪問販売にご注意を――
「花子さん、布団の訪問販売被害に遭う」

市内在住の大仙花子さんと太郎さんご夫妻。最近は2人とも体力の衰えに不安を感じ、花子さんには認知症の症状が見られるようになりました。

そんな夫妻の様子を気に掛け、地域包括支援センターでは、社会福祉協議会を通じて、高齢者世帯の見守りなどを行う「結いっこサービス」を紹介。大仙夫妻も利用することになりました。

ある日、花子さんが「結いっこサービス」のサポーターと話していると、布団の販売員がやってきました。販売員はサポーターがいるのを見て、花子さんに「また後で来ます」とだけ告げて帰って行きました。不審に思ったサポーターは、社会福祉協議会に状況を報告。地域包括支援センターにも連絡が入りました。

翌日、地域包括支援センターの職員が訪問した時には、花子さんはすでに布団を受け取り、支払いを済ませてしまっていました。花子さんは何の疑いももっていない様子です。職員が太郎さんに事情を説明して一緒に領収書を探すと、50万円を支払っていたことが分かりました。

妥当な金額とは思われなかったため、すぐに市の消費生活相談室に協力を依頼。相談員は販売業者と交渉し、花子さんが認知症のため判断力が低下していたことを理由に布団を返品。代金も無事に戻ってきました。

（この話は、類似した事例をもとに再構成したフィクションです）

登場人物紹介

大仙花子さん（75歳）
最近は認知症の病状が見られるようになった花子さん。太郎さんとは結婚して50年の仲むつまじいご夫婦です。

大仙太郎さん（80歳）
花子さんと2人で暮らす太郎さん。花子さんの病状を気遣いながら、自身の体力の衰えに不安を感じています。

生活や健康の不安を相談ください

地域包括支援センターでは、高齢の方が認知症などで消費者被害を受けないよう、見守り・相談などの支援を行っています。

生活や健康の不安など「どこに相談すればよいか分からない」と思った場合でも気軽にご相談ください。内容に応じて、今回の「結いっこサービス」のような高齢者支援サービスや各機関・制度の利用につなげます。（「結いっこサービス」は市が社会福祉協議会に委託して実施しています）

「どこに相談すればよいか分からない」という悩みもまずは各地域包括支援センターへ

中央（大曲庁舎／大曲・四ツ屋・花館地区）
☎0187-63-1111 内線 169・171
東部（中仙庁舎／中仙・仙北・太田）
☎0187-56-7125
西部（西仙北庁舎／神岡・西仙北・南外）
☎0187-87-3970
協和（社会福祉協議会協和支所／協和）
☎018-892-3838
南部（社会福祉協議会本所／大曲・内小友・西根・藤木・角間川地区）
☎0187-88-8030

介護保険事務所からのお知らせ
介護保険料を滞納すると・・・

【問い合わせ】介護保険事務所 保健指導班 ☎0187-86-3911

介護保険料を納期限までに納めなかった場合（災害その他特別な事情がある場合を除く）、その期間に応じて次のような措置が取られます。

一人一人の保険料は、老後の安心をみんなで支える介護保険の大切な財源です。納期限を守り忘れずに納付しましょう。

確実で便利な口座振替を利用ください

満65歳になった方の保険料はすぐには年金から天引き（特別徴収）できないため、当分の間、納付書で納めていただくことになります。納め忘れを防ぐため、確実で便利な口座振替を利用ください。口座振替は各金融機関（秋田ふるさと農協金沢支店を含む）で手続きできます。

■滞納している期間に応じて取られる措置／

①【1年以上】（償還払い）
介護保険サービスを利用する際の自己負担額は通常1割ですが、サービス事業者に一旦全額(10割)を支払い、後日9割の払い戻しを受ける「償還払い」になります。

②【1年6カ月以上】（一時差止）
①の償還払いによる給付のほか住宅改修費・福祉用具購入費の給付費が一時差し止めになる場合があります。さらに滞納が続くと、差し止められた給付費から滞納している分の保険料が引き落とされる(控除)場合があります。

③【2年以上】（給付額減額）
滞納している期間に応じて、自己負担額が3割に引き上げられます。また、高額介護サービス費の支給が受けられなくなる場合があります。

BOOKs 図書館情報

南外図書館のおすすめ
どうぶつのこゝろ図鑑
D[di:]ディー／著（角川書店）
（南外図書館所蔵あり）

ペットと一緒にいると、ときどき人間の話す言葉がすべて分かっているのではないかと思うことはありませんか。そして、こちらも動物の気持ちが分かるような気がすることはありませんか。でも、本当はどうなのでしょうか。

今月のお勧めは、ペットを飼われていない方でも楽しめる1冊。動物が主役のショートストーリー25作品を美しいイラストとともに紹介します。

12月の新着図書

ここで紹介する以外にもたくさんの本が入っています。
希望する本がなかった場合は、図書館職員へ声を掛けてください。
市内の各図書館のほか、県立図書館からも取り寄せます。

幼児・児童向け図書
○またおいで／もりやまみやこ
○えんまのはいしゃ／二見正直
○ひめねずみとガラスのストーブ／降矢なな
○北風ふいてもさむくない／西巻茅子
○ピートのスケートレース／ニキ・ダリー
○タンポポ／山本省三
○ターシャのかずのほん／ターシャ・テューダー

小説・一般向け図書
○用心棒日暮し剣／池永陽
○あつあつを召し上がれ／小川糸
○ゴーグル男の怪／島田荘司
○星やどりの声／朝井リョウ
○東京ピーターパン／小路幸也
○一分ノ一 上・下／井上ひさし
○水の柩／道尾秀介
○かわいそうだね？／綿矢りさ
○蝋ノ記／葉室麟
○花明かり／山本一力

ブックスタートボランティアを募集

赤ちゃんへの絵本読み聞かせを行うブックスタートボランティアを募集しています。
興味のある方は、大曲図書館に連絡ください。

■各図書館イベント／

【クリスマススペシャルおはなし会】
協和　12月3日（土）午前10時
【クリスマスおはなし会】
大曲　12月17日（土）午後1時30分～
【おはなし会】
仙北　12月10日（土）午前10時30分～
神岡　12月17日（土）午前11時～
西仙北　12月24日（土）午前10時～11時
【どんぐり文庫　クリスマスおはなし会】
太田（敬愛館）　12月18日（日）午前10時～11時

■大曲図書館企画展／
「見に来てたんせ おらほの学校」大曲養護学校出張学校展
期間／12月2日（金）から22日（木）
時間／午前9時～午後7時

■各図書館休館日／【12月】▼1日＝大曲、神岡、南外、太田▼5日＝中仙、仙北▼5日から7日まで＝協和（資料整理期間）▼7日＝西仙北▼29日から1月4日まで＝年末年始のため全館休館**【1月】**▼30日＝協和

各図書館問い合わせ

大曲図書館	☎0187-62-1012	南外図書館	☎0187-74-2130
神岡図書館	☎0187-72-2501	仙北図書館	☎0187-69-3334
西仙北図書館	☎0187-75-0099	太田図書館	☎0187-88-1119
協和図書館	☎018-892-3830	中仙図書館	☎0187-56-7200

12月の市長日程

※日程は変更になる場合があります。

1日・木	第4回大仙農業元気賞表彰式
2日・金	定例記者会見
5日・月	第4回市議会定例会（初日）
6日・火	大仙美郷介護福祉組合正副管理者会議
7日・水	大仙雪まる隊出動式
13日・火	第4回市議会定例会（第2日目）
14日・水	第4回市議会定例会（第3日目）
21日・水	第4回市議会定例会（最終日）
22日・木	花館財産区議会定例会 全国花火競技大会大会委員会並びに実行委員会
26日・月	大仙美郷介護福祉組合議会定例会
28日・水	仕事納めの式

市長交際費
（10月1日～31日）

摘要	件数	金額
弔慰	1	10,000円
慶祝	28	183,345円
協賛	6	46,200円
合計	35	239,545円

1 秋のリフレッシュ招待事業に参加した東日本大震災被災地の方と話す栗林市長

2「萬桜・育友会植樹祭」で、会員とサクラの植樹作業をする栗林市長

「12 月の献血日程」の変更のお知らせ（だいせん日和 11 月号お知らせ版 11 ページ）
日程追加／ 12 月 7 日（水）午前 10 時～ 11 時・（株）へいあん秋田ノートルダム大曲
会場変更／ 12 月 16 日（金）午前 10 時～ 10 時 50 分・山の手ホテル ※（株）へいあん秋田ノートルダム大曲から変更

情報交差点 information

緊急雇用創出臨時対策 臨時職員を募集

業務内容の詳細については、ハローワークの求人内容をご覧ください。
◆**職種・人員**／歴史資料デジタルデータ化事務補助員・１人
◆**対象**／求職中の方
◆**雇用期間**／12月16日（金）から平成24年３月31日（土）まで
◆**勤務時間**／平日の午前８時30分～午後４時30分
◆**業務担当課**／文化財保護課（仙北庁舎）
◆**申込期限**／12月８日（木）
※ハローワークで紹介状を取得後、履歴書と一緒に文化財保護課に提出ください。
【問い合わせ】
ハローワーク大曲 ☎0187-63-0335
文化財保護課 ☎0187-63-8972

Events イベント

自然の調和を楽しむ いけ花と写真のコラボ展

◆**期間**／12月13日（火）から23日（金）まで
◆**時間**／午前９時～午後４時
◆**会場**／産業展示館（月曜休館）
【問い合わせ】
女性センター ☎0187-62-1713

各講座の作品展示・舞台発表会 ペアーレ大仙フェア 2011

ペアーレ大仙各講座の作品展示会と舞台発表会を行います。
【作品展示会】
期間／12月９日(金)から11日(日)まで
時間／午前10時～午後４時（９日は午後１時から）
会場／大曲交流センター
【舞台発表】
日時／12月11日(日)午前10時～午後３時
会場／大曲市民会館・大ホール
◆**入場料**／無料
【問い合わせ】
ペアーレ大仙 ☎0187-63-8600

クリスマスのアレンジに挑戦 市民フラワーデザイン講座

◆**日時**／12月14日(水)午後５時～７時
◆**会場**／はぴねす大仙
◆**受講料**／無料（別途、材料費1,500円程度）
【問い合わせ・申し込み】
NPO法人フラワーデザイン普及協会 栗林さん ☎090-2270-6644

Invitation 募集

来年４月からの給食物資 納入希望業者を公募します

市内の各学校給食センターで来年４月から使用する給食物資（食料品）の納入を希望する業者を公募しています。申請・応募条件などの詳細については、問い合わせください。
◆**申請期限**／平成24年１月16日(月)
【問い合わせ・申請】
学校給食総合センター
☎0187-86-4171

社会福祉法人大仙ふくし会 看護師職員を募集

詳細については、ハローワークの求人票をご覧ください。
◆**募集人員**／若干名
◆**対象**／看護師、または准看護師資格を取得済みで車で通勤可能な方
◆**雇用開始**／平成24年４月１日(日)
◆**勤務場所**／特別養護老人ホーム福寿園（南外）
◆**勤務時間**／午前７時45分～午後４時30分または午前９時15分～午後６時（夜間勤務なし）
◆**勤務内容**／施設利用者の健康管理・看護業務など
◆**申し込み方法**／①写真を張った履歴書②最終学校卒業証書の写し③資格取得証明書の写し④ハローワークの紹介状―を郵送または持参
◆**申込期限**／12月20日（火）※必着
【問い合わせ・申し込み】
大仙ふくし会事務局 ☎0187-87-1112
〒019-1701 神宮寺本郷道南78

そば打ちと試食を楽しみませんか 親子そば打ち体験教室

◆**対象**／小・中学生、高校生とその保護者
◆**日時**／12月18日（日）午前９時50分～正午
◆**会場**／はぴねす大仙
◆**定員**／先着10組
◆**参加費**／１人100円
◆**受け付け開始**／12月５日(月)
【問い合わせ・申し込み】
大仙市学校給食協会（学校給食総合センター内）
☎0187-86-4171

ペアーレ大仙・特別料理教室 すてきで美味しいランチとデザート

お正月向けのメニュー「のし鶏」「じゃが海老まんじゅう」（他一品）を紹介。デザートに「和風レアチーズケーキ」を作ります。
◆**日時**／12月14日(水)午前10時～午後０時30分
◆**受講料**／1,200円(別途材料費600円)
◆**定員**／先着16人
◆**申し込み方法**／ペアーレ大仙窓口で申し込み
◆**申込期限**／12月10日(土)
◆**講師**／有坂和美さん（PlatinumTime講師）
【問い合わせ】
ペアーレ大仙 ☎0187-63-8600

ジュニアスポーツの指導法を学ぶ スポーツ少年指導者等研修会

中京大学スポーツ科学部教授の湯浅景元さんが「子どもの能力・可能性の引き出し方」と題して講演します。スポーツの指導に関心がある方はぜひ参加ください。
◆**日時**／12月４日（日）午前10時～正午（受け付け午前９時30分～）
◆**会場**／ふれあい文化センター
◆**参加費**／無料
【問い合わせ・申し込み】
大仙市スポーツ少年団事務局（スポーツ振興課内）
☎0187-63-1111 内線344

北朝鮮人権侵害問題解決のため 情報提供をお待ちしています

北朝鮮当局による拉致問題を解決し、再発を防ぐためには、一人一人がこの問題を認識し、関心を深めることが大切です。日本人拉致容疑事案についての情報をおもちの方は大仙警察署までご連絡ください。
【問い合わせ・情報提供】
大仙警察署 ☎0187-63-3355

事前に申し込みが必要です 社会福祉協議会の無料法律相談

◆**日時**／12月８日（木）午前10時～午後３時（相談時間は１人30分）
◆**会場**／大仙市社会福祉協議会本所
◆**定員**／先着８人
◆**申込期限**／12月６日（火）
◆**相談員**／佐々木優さん（弁護士）
【問い合わせ・申し込み】
大仙市社会福祉協議会本所
☎0187-63-0277

Course 講習

本場タイのグリーンカレーに挑戦 大仙市国際交流協会料理教室

◆**日時**／12月11日(日)午前10時～午後２時
◆**会場**／はぴねす大仙
◆**定員**／先着20人
◆**参加費**／1,000円（小学生以下500円）
◆**申込期限**／12月８日(木)
【問い合わせ・申し込み】
大仙市国際交流協会（ペアーレ大仙内）☎0187-88-8237

暮らしに温かい雰囲気を添える 吊し飾り教室

◆**期日**／12月14日（水）・28日（水）・平成24年１月11日（水）・25日（水）
◆**時間**／午後１時30分～３時30分
◆**会場**／サンクエスト大曲
◆**定員**／先着16人
◆**受講料**／無料（別途材料費）
【問い合わせ・申し込み】
サンクエスト大曲 ☎0187-63-5572

紛争などで苦しむ方々を支援 NHK海外たすけあいキャンペーン

紛争や災害、飢餓などで苦しんでいる海外の方々を支援するNHK海外たすけあいキャンペーン。みなさんからの義援金の協力をお願いします。
◆**期間**／12月25日（日）まで
◆**受け付け窓口**／郵便局・銀行・農協・日本赤十字社秋田県支部・秋田赤十字病院・秋田県赤十字血液センター・アトリオン献血ルーム・献血ステーション・秋田赤十字乳児院・日本赤十字秋田看護大学（各窓口に振込用紙を用意しています。振込手数料は無料）
【問い合わせ】
日本赤十字社秋田県支部
☎018-864-2731

大仙・美郷・仙北平和運動連絡会 12・10平和講演会

東京電力福島第一原子力発電所事故のため福島県双葉郡から避難している石丸小四郎さん（大仙市出身）を講師に招き、自身の体験を基に同事故について講演していただきます。
◆**日時**／12月10日（土）午後１時30分～３時30分
◆**会場**／仙北教育会館（大曲金谷町）
◆**参加費**／500円（資料代）
【問い合わせ・申し込み】
仙北教育会館 ☎0187-62-4461

Information お知らせ

大仙の元気・笑顔をアピール あきたふるさと手作りCM大賞

市では、大曲高校放送部のみなさんなどから協力をいただきCMを制作。「あきたふるさと手作りCM大賞2011」に参加し、大仙の元気・笑顔をアピールしました。みなさんもぜひご覧ください。
◆**放送日時**／12月10日（土）午後４時～５時30分
◆**放送局**／AAB秋田朝日放送
※放送日時は変更になる場合があります。

司法書士総合相談センター大曲 無料相談会

多重債務や成年後見、不動産・会社・法人の登記などの相談に無料で応じます。相談希望の方は事前に電話で予約ください。
◆**期日**／12月21日（水）・平成24年１月25日（水）・２月22日（水）・３月28日（水）
◆**時間**／午後６時～午後８時
◆**会場**／サンクエスト大曲
【予約専用電話】
司法書士総合相談センター大曲
☎018-824-0055
【問い合わせ】
秋田県司法書士会 ☎018-824-0187

積雪期の踏切事故防止のため 冬季の踏切通行止めにご協力ください

積雪期を迎え、踏切での事故防止のため、市内の一部の踏切が次の期間通行止めになります。ご理解とご協力をお願いします。
また踏切では、路面の凍結により車がスリップし、脱輪する危険があります。踏切の前では一旦停止し、安全を確認してから横断しましょう。

路線名	踏切名	通行止め期間（予定）
奥羽本線	高屋敷踏切	12月19日（月）から平成24年３月14日（水）まで
	中川原踏切	
	船岡踏切	
	下高畑踏切	12月19日（月）から平成24年３月14日（水）まで
	小貫踏切	
	高田踏切	
田沢湖線	蛭川踏切	12月16日（金）から平成24年３月14日（水）まで
	上谷地踏切	
	田尻踏切	12月17日（土）から平成24年３月14日（水）まで
	鶴田踏切	

※船岡踏切・上谷地踏切は車両のみ通行止め
【問い合わせ】
JR東日本秋田支社 大曲補線技術センター
☎0187-63-3324

広告ページ

12 EVENTS INFO. 月の子育てイベント情報

未就園の子どもを対象にした、各地域子育て支援センターでのイベントをお知らせします。

地域	日時	開催場所	事業名	申込期限
大曲	8日(木) 10:00～	サンクエスト	みんなであそぼう	6日(火)
	15日(木) 10:00～	大曲交流センター	サンタさんきてね	13日(火)
神岡	13日(火) 9:30～	すくすくだけっこ園	クリスマスの雰囲気を味わいながら遊ぼう	12日(月)
西仙北	8日(木) 10:00～	みつば保育園	作って遊ぼう	なし
	22日(木) 10:00～		クリスマス会に参加しよう	なし
中仙	20日(火) 9:30～	なかせんワイワイらんど	クリスマスを楽しもう！	なし
協和	24日(土) 10:00～	協和保育園	園児と一緒にクリスマス会	21日(水)
南外	2日(金) 9:30～	南外保育園	みんなで遊ぼう！	なし
	13日(火) 10:00～		もちつき会 楽しいよ！	12日(月)
仙北	7日(水) 9:30～	仙北南保育園	クリスマスツリーを飾ろう！	2日(金)
	14日(水) 9:30～		作って遊ぼう! クリスマス飾り	9日(金)
太田	16日(金) 10:00～	おおた保育園	みんなで遊ぼう	なし

※申し込み状況で、申込期限前に締め切ることがあります。

【問い合わせ・申し込み】各地域子育て支援センター

大曲 ☎0187-62-5733　**協和** ☎018-892-3426
神岡 ☎0187-72-2244　**南外** ☎0187-73-1088
西仙北 ☎0187-87-7130　**仙北** ☎0187-63-1143
中仙 ☎0187-56-4139　**太田** ☎0187-86-9110

「まるこのひろば」 12月のイベント案内

大花都市再生住宅1階の子育て支援拠点施設と高齢者生活相談所で各種イベントを行います。

日時	子育て支援拠点施設	高齢者生活相談所
9日（金） 10:30～	年賀状や各種カードの作り方（心が伝わるようなカードを）	
15日（木） 10:30～	いっしょに遊ぼう（親子で交流を）	【随時】高齢者と子育て親子の生活相談
17日(土) 13:30～	「みんなで歌おう！」の集い（大きな声で、みんなスッキリ）	
20日(火) 10:30～	クリスマスお楽しみ会（夢を膨らませて）※13日（火）まで申し込みください	
22日(木) 10:00～	ミニツリーと門松をつくろう（夢を大きく描きながら）	
26日(月) 10:30～	誕生会（12月生まれの子）	【随時】高齢者と子育て親子の生活相談

※体操教室…毎週月曜日（祝日除く）
①午前10時～②午後1時30分～
「みんなで歌おう」の集い…毎月第3土曜日午後1時30分～

【問い合わせ】まるこのひろば
子育て＝☎0187-63-2344　高齢者＝☎0187-63-2544

大仙市の行事予定
12月1日(木)～20日(火)

12/1 木
人権・行政に関する無料悩み相談会
■午前10時～午後3時 ■中仙農村環境改善センター

2 金

3 土
DON-PAL JAZZ2011 北村英治カルテットコンサート
■午後6時開演 ■中仙市民会館ドンパル（1,000～4,000円）
人権・行政に関する無料悩み相談会
■午前10時～午後3時 ■西仙北高齢者ふれあいセンター

4 日
障がい福祉休日相談会
■午前9時50分受け付け開始■大曲交流センター
大仙美郷クリーンセンター休日開場日
■午前8時30分～正午・午後1時～4時30分
■【家庭系ごみ】65円／10kg【事業系ごみ】110円／10kg
呈茶会(玉川遠州流・今野晋清社中)
■午前10時～ ■産業展示館(300円)
外 **仙北組合総合病院・整形（大曲）☎0187-63-2111**
歯 **協和町歯科診療所（協和）☎018-892-3166**
児 **仙北組合総合病院（大曲）☎0187-63-2111**

5 月
人権・行政に関する無料悩み相談会
■午前10時～午後3時 ■神岡福祉センター(人権相談のみ)・協和市民センター(和ピア)・仙北就業改善センター・太田文化プラザ

6 火
人権・行政に関する無料悩み相談会
■午前10時～午後3時 ■大曲庁舎3階第二・第三委員会室

7 水
人権・行政に関する無料悩み相談会
■午前10時～午後3時 ■南外公民館

8 木
子育てママの就職相談（要申し込み）
■午後1時～4時 ■女性センター

9 金

10 土
「あきたふるさと手作りCM大賞2011」放送日（予定）
■午後4時～5時30分 ▶P.36

11 日
外 **仙北組合総合病院・外科（大曲）☎0187-63-2111**
歯 **まつだ歯科医院（仙北市）☎0187-43-3600**
児 **仙北組合総合病院（大曲）☎0187-63-2111**

12 月

13 火

14 水

15 木

16 金

17 土
西仙北地域行政相談
■午前10時～正午 ■西仙北高齢者ふれあいセンター

18 日
外 **大曲中通病院（大曲）☎0187-63-2131**
歯 **高橋ひろし歯科医院（大曲）☎0187-63-1230**
児 **仙北組合総合病院（大曲）☎0187-63-2111**

19 月
協和地域行政相談■午前9時～正午■淀川分館
太田地域行政相談■午前9時～正午■太田庁舎相談室
大曲地域行政相談■午前10時～正午■大曲庁舎市民ホール
南外地域行政相談■午前10時～正午■南外コミュニティセンター
協和地域行政相談■午後1時～4時■協和市民センター（和ピア）

20 火

外 … 休日外科当番医　午前10時～午後4時
歯 … 休日歯科当番医　午前9時～正午
児 … 小児救急診療　午前9時～午後3時

休日救急医療(仙北組合総合病院内)　※日曜日・祝日・年末年始
☎0187-63-2111　■内科・小児科　■午前9時～午後3時

第24回

the 24th Daisen City Omagari New Comer Music Festival Contest

大仙市大曲新人音楽祭コンクール

永遠(とわ)に煌(きら)めけ　この刻(とき)、君の音(おと)

若手音楽家による全国コンクールで、まさに音楽家への登竜門と言える「大仙市大曲新人音楽祭コンクール」。今大会にも、たくさんの未来ある若手音楽家の方々が参加します。

若き音楽家たちの情熱あふれる演奏をぜひお聴きください。

■**入場料**／無料

【問い合わせ】
大曲市民会館
☎0187-63-8766（月曜日休館）

予選　1/14(土)

【声楽部門】
時間／正午～
会場／大曲市民会館・大ホール

【弦・管・打楽器部門】
時間／正午～
会場／大曲市民会館・小ホール

【ピアノ部門】
時間／午後2時30分～
会場／大曲市民会館・大ホール

本選　1/15(日)

【全部門】
時間／午後0時30分～
会場／大曲市民会館・大ホール

【特別出演】
第23回大仙市
大曲新人音楽祭コンクール
グランプリ受賞者
〈声楽〉星由佳子さん

人口と世帯数

※（）内は前月比　10/31現在

人口	89,811人	(-106)
男	42,264人	(- 60)
女	47,547人	(- 46)
世帯数	30,906世帯	(- 1)

人口増減内訳

出生	30人
死亡	121人
転入	113人
転出	128人

担当者コラム　今日も〝だいせん日和〟

▼12月、雪が舞い始め、本格的な冬の訪れを感じるようになった。12月といえばクリスマス。子どもたちが待ちに待った季節がやってきた。朝、目が覚めると枕元にはサンタクロースが届けてくれたプレゼントが…。クリスマスの思い出は、大人になっても心を温めてくれる▼被災地の子どもたちに、今年も変わらず訪れるはずのクリスマスを奪った東日本大震災。「被災地の子どもたちにクリスマスプレゼントを贈ろう」という取り組みが、全国に広がっている。クリスマスツリーなどのグッズや絵本、おもちゃなど内容はさまざま。そこには「子どもたちに元気を、笑顔を」との願いが込められているに違いない▼「We wish you a merry Christmas and a happy New Year」。代表的なクリスマスソングの1フレーズ。サンタクロース、願いが叶うなら被災地の子どもたちに届けてほしい。すてきなクリスマスを。そして、幸せな新年を。（け）

●編集発行　秋田県大仙市企画部総合政策課　☎0187(63)1111(代表)
〒014-8601　秋田県大仙市大曲花園町1番1号
●発行日　毎月2回（1日・16日）
●印刷　株式会社　松本印刷

PRINTED WITH SOYINK 大豆油インキを使用しています。